

令和3年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(令和2年度事業)

くらしの中に図書館を
本と出あい、人と出あう
「知のひろば」が
地域の文化を創る

令和3年9月
日野市立図書館

目次

1	はじめに.....	1
2	評価の目的.....	1
3	図書館の現状.....	1
	（1）施設.....	1
	（2）組織・職員（令和3年3月31日現在）.....	2
	（3）主な業務.....	2
4	評価の実施方法.....	2
5	評価の対象.....	2
6	評価の結果.....	3
	（1）図書館協議会の総括的意見.....	3
	（2）図書館の自己評価.....	11
7	令和2年度主要な取組（主要事業）／第3次日野市立図書館基本計画の取組内容... 12	
	統計資料.....	68
	日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱.....	82
	図書館協議会委員名簿.....	83

1 はじめに

平成 20 年 6 月に「図書館法」が改正され、図書館の運営の状況に関する評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めること、また、図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならないこととされました。

そのため、図書館では、平成 21 年 3 月 31 日に、「日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱」を制定し、平成 21 年度から図書館の運営状況に関する評価を開始しました。

2 評価の目的

この評価は、図書館の運営状況に関する情報を積極的に提供することにより、市民・利用者やその他の関係者との理解を深め、連携及び協力を推進し、市民・利用者に信頼される効果的な図書館運営の推進に資することを目的に行います。

この目的遂行のため、図書館は毎年 1 回、運営状況について評価を行い、その評価に関する報告書を毎年作成し、教育委員会に提出するとともに、市民に公表することとしています。その評価結果に基づき図書館の運営の改善を図るために必要な措置を講ずるよう努めていきます。

3 図書館の現状

(1) 施設

施設の名称	延べ床面積	現館の開館日	所在地	蔵書数
中央図書館	2,220 m ²	昭和 48.4.28	豊田 2-49-2	331 千冊
移動図書館	1 台 (21 駐車場)	昭和 40.9.21	同上	34 千冊
高幡図書館	1,358 m ²	昭和 55.5.11	三沢 4-1-12	104 千冊
日野図書館	422 m ²	昭和 55.5.18	日野本町 7-5-14	59 千冊
多摩平図書館	856 m ²	平成 16.4.1	多摩平 2-9 多摩平の森ふれあい館 1 階	127 千冊
平山図書館	412 m ²	平成 20.4.5	平山 5-18-2 平山季重ふれあい館 1 階	68 千冊
市政図書室	140 m ²	昭和 52.12.1	神明 1-12-1 日野市役所 1 階	51 千冊
百草図書館	759 m ²	平成 2.11.16	百草 204-1 ガーデンビュー石神 D2 階	73 千冊

(2) 組織・職員（令和3年3月31日現在）

3 係（庶務・業務・奉仕）、6 分館

正規職員 31 人（うち司書 26 人）

再任用職員 5 人（うち司書 2 人）

会計年度任用職員（年 1500 時間換算） 35.05 人

(3) 主な業務

- ・ 図書館資料の収集、整理及び保存
- ・ 個人貸出、団体貸出
- ・ 読書案内及び読書相談
- ・ レファレンス
- ・ 図書館資料の図書館間相互貸借
- ・ 市内の学校への資料提供と支援
- ・ 地域・行政資料の収集・提供・保存・読書会、研究会、講習会、展示会等の主催及び奨励
- ・ 館報その他の読書資料の発行及び頒布

4 評価の実施方法

評価の対象事業について、図書館の活動実績・自己評価を、図書館協議会に報告し、定例協議会において主要事業の概要説明をしました。それに対し図書館協議会委員の意見をいただき、評価を行いました。

5 評価の対象

令和2年度主要な取り組み（主要事業）の4事業及び「第3次日野市立図書館基本計画」の基本方針の下の取り組みを評価対象としました。また、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症が拡大し、図書館の運営にも大きな影響が出ました。このため、主要事業に「新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み」を加えて評価を行いました。

○令和2年度主要な取り組み（主要事業）

- 1 新型コロナウイルス感染症防止の取り組み
- 2 第3次図書館基本計画推進事業
- 3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
- 4 障害者サービス事業
- 5 地域・行政資料のデジタル化事業

○図書館基本計画に基づく令和2年度重点的取り組み内容

- 1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします

地域・行政資料の収集・提供・保存

市民に役立つ情報の提供

市民の図書館活動・運営への参加

地域で活動する団体との連携

関係機関との連携

2. 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります

くつろげる「居場所」としての環境の充実

本を通じた出会い、交流の機会を創る取り組み

移動図書館ひまわり号の活用

3. 市民の読書活動を推進します

本と出あうきっかけづくりの拡充

子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み

4. 全ての市民に図書館サービスを提供します

図書館サービスのていねいな説明

利用につながる図書館情報の発信

移動図書館ひまわり号によるサービスの充実

多様な利用者へのサービスの拡充

5. 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

資料・情報の収集

資料・情報の保存

資料・情報の提供体制の充実

読書案内・レファレンスサービスの充実

6. サービスを提供する基盤を整備します

施設の保持・保全

ICT化の推進

職員の育成

市民とともにすすめる図書館運営の推進

6 評価の結果

(1) 図書館協議会の総括的意見

○令和2年度主要な取り組み（主要事業）

1 新型コロナウイルス感染症防止の取り組み

前例のない対応が求められる困難な状況の下での取り組みであったことと思う。感

染防止策の具現化に時間がかかったり、感染防止のための物品が不足したりした面もあったことと思うが、利用者の利便を大きく損なうことなく、学びの継続を持続するために、最大限の適切な対応を実施してきたことを評価する。また、職員に感染者がなく、日々不安の中一年間活動できたことを大いに評価する。

今後のパンデミック対策として、今回の取り組みやその意思決定過程などを記録として残すことが課題であると考える。

2 第3次図書館基本計画推進事業

地域館ごとでの地域の特性を活かし、ニーズを汲んだ特徴のある取り組みが、たいへん面白い。事業運営の多彩さを実感でき、評価できる。各地域館がアイデアと工夫をこらして取り組む姿勢は今後ともぜひ継続していただきたい。

ひまわり号は、新たなサービスポイントを令和2年度に検討したとのこと。また新しいサービスを展開できることを期待したい。

中央図書館で、トークライブをオンライン配信で実施したとのことであるが、オンライン配信のイベントは自宅から参加が可能のため、誰もが参加しやすいユニバーサルな企画であると考える。今後の様々なイベント等にもオンラインでの取り組みを加えることを期待する。

3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業

(1) 第4次子ども読書活動推進計画推進事業

新型コロナ禍の中、図書館が休館した時期もあったが、再開した時に、子どもたちは大量に利用している様子が見られ、読書を楽しんでいること、利用できることの大切さを知ることができた。

新型コロナウイルス感染症拡大の中で、他自治体の図書館がサービスを縮小する中、第4次子ども読書活動推進計画に基づいて、各部署で絵本セットの貸出、絵本コーナーの整理など、できる範囲で本に触れ合うことができるサービスを積極的に行っていることを評価する。子どもたちのため関係部門が連携を取りあって活動することは大切である。

家にいても楽しめるサイト紹介や図書館員がやってみたなど、図書館が身近に感じられる取り組みとして面白い。紙面よりネットの方が身近に感じている親世代が多く、ホームページからのアプローチは効果があると思われる。今後もオンラインを活用した取り組みを期待したい。

新型コロナウイルス感染症拡大がボランティア団体の活動に与えた影響を調査す

るなど、市民活動を積極的に把握しようとする姿勢もよい。図書館が市民の諸活動の繋ぎ手になることを期待する。

(2) 乳幼児へのサービス

新型コロナウイルス感染症拡大の中で、出来る範囲での取り組みを積極的に行っており、その点は評価できる。

おはなし会は、「手さぐり」で、どんな方法で再開できるかを十分に検討し、再開できたことはよかった。しかし、参加人数から保護者の不安が推測できる。定員制・先着順でなくなる日が早く来ることを願う。また、0, 1, 2歳児向けお話し会は、この世代の在宅育児家庭が減っているため、平日に限らず土日開催も検討してみてもどうか。

乳幼児向けリストの改訂に取り組んだとのことであるが、改訂・配布によってどれほどの効果があるか、検証してもらいたい。さらに乳幼児への読み聞かせの大切さを啓発する取り組みを行ってほしい。

「絵本パック」を地域館にも広げてサービスを行ったことを評価する。百草図書館は試行という事だが、令和3年度以降どうするかを考えてほしい。

また、この「絵本パック」は、利用者の意見を聞くきっかけになると考えられる。「3冊か5冊か」「どんなテーマがいいのか」「反応は」と、利用者といっしょに話をするにより、意識的に続けることが「つながり」を再生させることとなる。

(3) 小中学生へのサービス

感染症対策を確立して、小学生への「おはなし会」が再開されることを期待する。一方「たかはたブッククラブ」の新たな試みを期待します。定員・参加者が5名であっても「思い」に応えてもらいたい。

中学生と作家の交流事業では、生徒が企画運営から関われることに意義があり、評価したい。今後も子どもの主体的な活動の推進に期待する。できることなら、講師となる作家の選定から中学生が行えるようにすると、より関心がたかまるのではないか。

(4) 青少年へのサービス

ヤングスタッフの活動が、新型コロナウイルス感染症拡大のなかでもオンライン会議などの手法を用いて、継続させている点は評価できる。リアルな交流ができないが、これからも継続して行ってほしい。この活動を通して、高校生や大学生がまちの図書館の役割や大切さを理解し、図書館を支える市民の力へと成長していくことを期

待する。そのためにもさらに多くの高校生、大学生が参加できる機会を広げ、活動が進展することが望まれる。

青少年時代は読書傾向をはじめ、様々な面で自己確立をしていく時期である。青少年世代が広く関心を持ち、読書を楽しめるよう取り組みを進めていただきたい。

(5) 学校支援

学校図書館は、児童生徒の読書活動や児童生徒への読書指導を行うこと、児童生徒の学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしてその理解を深めたりすること、児童生徒や教職員の情報ニーズに対応したり、児童生徒の情報の収集・選択・活用能力を育成したりすることを目的としている。

「本の森学級文庫」と「依頼による調べ学習のための資料の搬送」は、学校図書館の二つの目的に合致する活動である。このため、日野市立図書館が取り組んでいる学校図書館支援は、規模の限られる学校図書館にとっては重要な活動といえる。

『本の森文庫』は、学級文庫の本が古かったり、少なかったりするので、子どもたちは、朝読書の時間や空き時間などに楽しみに読んでいます。」「学校搬送便も学校からのリクエストの応じて貸しだししていただき、調べ学習や教科の発展学習にも役立っています。」と、この二つの取り組みへの学校の評価は高いといえる。

それだけに、この二つの取り組みは、公共図書館、学校図書館の双方にとって極めて慎重でなければならないと考える。

より良い活動のために、以下の2項目を検討してみるべきではないか。

I 取り組みの在り方を考えてみる

- ① これらの取り組みが学校図書館、児童・生徒及び担当する教員にとってどのような意味をもつのか考えてみる。
- ② 児童・生徒、指導の教員の状況を直接知ることがなく「配本」「搬送」することの危うさはないのか考えてみる。

II 取り組みの効果を把握確認する

「配本」「搬送」した事実だけではなく、その取り組み・活動が利用者にとってどのような効果をあげたのかこそ知りたいものである。

「配本」「搬送」した後の利用状況をきちんと把握し、上記①②を検証してみることはできないだろうか。

不特定多数を相手にする他の事業では、活動結果の把握は難しいことだろうが、利用対象が限定される学校図書館支援に関しては、毎年、実施している「学校図書館読書調査」を活用するなど、その把握方法がいろいろあるのではない

か。

いずれにせよ、学校図書館の担当者（司書教諭、学校司書）や教諭との綿密なコミュニケーションが成り立ってこそ、可能となることである。今年度は学校図書館システムを活用した申し込み方法は検討を行ったとあるが、さらにその仕組みが実際に稼働してより豊かな学校支援につながることを期待する。

一方的に「配本」「搬送」する「支援」ではなく、公共図書館、学校図書館が「緊密に連絡し、及び協力する」関係構築が望まれる。

4 障害者サービス事業

障害者サービスは、公立図書館が全ての市民の知る権利に応えるために、不可欠なサービスである。利用対象者への情報提供やコミュニケーション、音訳者への講習、さらに図書館職員の手話講座受講など、障害者サービスを重視して、積極的に取り組んでおり、その諸活動は評価できる。

対面朗読は、年間ではなく約10か月で前年より利用が増加している。「情報」を得る方法がなかった障害のある方々にとって、大いに役立ったと思う。対策を十分にとって、再開できたことと、喜ばれたことを評価し、利用が増えることを期待する。

新規で事業所からの宅配サービスの申し込みがあったことは、PRを地道に続けた成果と考えられる。宅配サービスは、図書館に行きたくてもいけない人にとってとてもありがたいサービスである。障害者サービス全般に言えることであるが、さらに図書館未利用者への利用案内を周知すべく、その方法を工夫しながら進めて欲しい。

これは、障害者サービスに限らず、全般に言えることであるが、種々の取り組みが行われていることに感服している。さらに、対象者のニーズにどの程度応えられているか（施策のフィット（fit）・歓迎度合い）を知りたいところである。

5 地域・行政資料のデジタル化事業

地域・行政資料を残すことは、たいへん重要なことである。これを保存するためにデジタル化を行い、公開を開始したことを高く評価する。また、これを公開することで非来館型サービスが可能になったことも評価する。将来的にも地域・行政資料のデジタル化の継続が必要であり、著作権の問題もあるが、市刊行物以外のものもデジタル化することを考える必要もあると考える。また、事業継続のための予算確保も課題であると考えられる。

○第3次日野市立図書館基本計画の取組

1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします

総じて、各館で積極的な活動を行っており、その点は評価できる。なお、取り組みが、地域文化を創る拠点としてどのような成果を生み出しているかも注視する必要がある。これは単年度で現れることではないので、長期的な視点で見守り続ける必要がある。よって、事業としても継続することが大切である。

引き続き、地域との連携に期待するとともに、特に市民の図書館活動や運営への参加は、市民自身が図書館を大切さ、必要性を自覚する機会にもなる。利用者から図書館を守り育てる市民を増やすための方策を検討、実施していただきたい。

令和2年度は、新型コロナウイルスに、文字通り「ふりまわされた」一年であった。図書館も、やむを得ず臨時休館となった時期もあった。再び開館した際に集めた「思い」のまとめに期待したい。

2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります

各館でのおすすめ本を紹介する展示やポップ等の作成の取り組みは、非接触型の交流として評価する。交流の第1歩は「参加したくなること」だと感じたところである。

まちの図書館に求められることは、市民が読みたい、知りたいと思ったときに気軽に訪れることができるような場所であること。その実現への各種取り組みは評価できるが、さらに図書館未利用者への働きかけも検討して欲しい

コロナ禍の中、「ゆっくり」と読書をする居場所機能、交流の場としての取り組みが困難な一年であった。まずは「貸出」による資料の提供ということから再度、公共の意義を考える機会としてはどうだろうか。

3 市民の読書活動を推進します

毎月のテーマ展示は、各館の地域性やニーズに合った内容になっており興味深いものとなっており、評価できる。また、本に出会うきっかけとして「ひろば」や「図書館員の本箱」などホームページで公開するなど、多くの方に情報が届く努力も評価できる。これらの取り組みが、利用者が未知の本と出会うきっかけとなっていると考えられる。今後とも様々な方法で利用者と本を結びつける活動を推進することを期待する。

4 すべての市民に図書館サービスを提供します

全ての市民はその居住する自治体の公立図書館に対して利用する権利を有してい

る。図書館側からのサービス提供や工夫は適切だが、それでも図書館サービスを知らない市民がいることも事実である。この便利な仕組みをどうやって伝えていくか？図書館単独の取り組みだけではなく、生涯学習活動全体を巻き込んで、個人や団体に対しても広報する必要がある。

島田潤一郎氏の講演会は、参加者の限定であったが、リモートの講演ということで、多くの反響があったという新たな試みを大いに評価する。

5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します

資料選定基準を制定し、それを公開したことは評価できる。一方で、出版内容が変化することにより、「基準の見直し」が必要になる。このことを常に念頭に置いておいていただきたい。また図書以外の媒体により情報資源の充実の努めた点も、市民の多様な情報ニーズに応えるために大切なことである。特にオンラインデータベースの利用も増えているので、さらなるPRを続けていただきたい。蔵書管理サイクルも適切に行われていると評価できる。

資料・情報の収集には資料費の拡充も不可欠である。他自治体の図書館では厳しい財政の中で、資料費が削られる事例も見られるが、日野市立図書館はそれを維持していることは多に評価できる。図書は、そのときに購入しないと二度と入手出来ない事例も増えている。図書館は未来の市民のためにも現在出版されている図書や情報を収集しなければならない。そのためにも資料費を維持するとともに、拡充されることを強く希望するものである。

6 サービスを提供する基盤を整備します

安心して利用できるように考えて、修繕を行ったことを評価する。また、高幡図書館の見えないところの樹木への対応を評価したい。中央図書館のリニューアルもすすめていただきたい。

図書館サービスは専門職である司書によって支えられる。その専門性は日常の業務経験とともに、不断の自己研鑽によって磨き上げられるものである。各種の研修はその貴重な場となるので、積極的な受講を今後とも推進していただきたい。

臨時休館後に実施した「読書調査」は市民の図書館に寄せる思いが詰まっており、短期間に2600件の回答があったことは特記すべきこと。この市民の図書館に対する思いや信頼は、日野市立図書館が長年培ってきた図書館サービスの方向性の正しさを証明している。これからも市民とともに歩み、市民に寄り添い、市民の身近で信頼される図書館を維持して欲しい。

○まとめとして

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策に終始した一年であったともいえる。感染症対策を十分に行いながら、利用者の利便性を大きく損なわずに運営してきたことを高く評価する。とりわけ、新型コロナウイルス感染症のために、事業実施が制約される中で、ホームページサイトの新設、絵本パック貸出館の増強、オンライン会議の活用など、新たな取り組みを開始した第4次子ども読書活動推進事業については評価する。

令和2年度は、第3次日野市立図書館基本計画の計画期間のちょうど真ん中である3年目の年である。計画では重点施策として「地域の特性を活かした地域館の取り組みの充実」を掲げている。これを踏まえて、各地域館でそれぞれの地域特性をふまえて資料の収集、種々の取り組みを実施していると言えよう。各地域館がアイデアと工夫をこらして取り組む姿勢は今後ともぜひ継続していただきたい。

ひまわり号は、令和3年度より「石田地区公共施設」（石田環境プラザ）への巡回を開始するための準備を行ってきた。地域の文化づくりを支援することを目的とする巡回は2か所目であり、平成30年度から開始している新旭が丘地区センターと同様に、地域に定着した巡回となることを期待したい。

第3次図書館基本計画の計画期間は、令和4年度までであり、この年に第4次計画を策定する作業を行わなければならない。第3次計画では図書館が、すべての市民の暮らしの中にとけこんだ、地域の文化を創る拠点として、人が集い、新たなことが創られる場としての「ひろば」となることをめざすこととした。これを継承しつつも、第4次基本計画では、公共図書館が果たす役割をみつめつつ、よりダイナミックで具体的な指針となるような計画となるよう早い時期からの準備と職員ひとり一人が考えていく体制づくりをお願いしたい。

令和2年度に取り組んだ内容の課題に取り組みつつ、さらに図書館の運営がすばらしいものになるよう、しっかりとした運営体制を維持継続するようお願いしたい。

図書館サービスは、専門職である司書によって支えられている。利用者の質問や相談を受けて調べ物に必要な資料を探し出すレファレンスや、地域ごとにことなるニーズに応じて新たに購入する資料を選ぶ選書などの図書館の業務は、職員の日常業務と利用者との対話の長い積み重ねによって、利用者のニーズに応えられると考える。

また、この図書館の自己評価の説明を受けた際には、地域館に勤務する職員と地域住民が図書館で、お互いに親しみをもって接している光景が目につかんできた。

このような運営は、安定した職員体制によって成り立つものであると確信している。

コロナ禍で人と人とのつながりが、より希薄になったと感じられる時代である。このような時代であるからこそ、「本と人をつなぎ」「人と人をつなぎ」「人と地域をつ

なく」、つながりを創出する日野市立図書館、そして日野市であることを図書館協議会として願うところである。

(2) 図書館の自己評価

日野市立図書館は、貸出を通じて市民と向き合うことを基本とし、市民一人ひとりが求める本や資料の提供を行ってきた。令和2年2月28日(金)に政府が小・中学校への臨時休校を要請したことに伴い、三多摩の中でも多くの図書館が臨時休館となったが、日野市立図書館は、市民への情報提供を継続するために、一部サービスを制限しつつも、開館を継続した。

しかし、4月8日(水)に政府による緊急事態宣言が発令されたことに伴い、人流を抑えることを目的に4月9日(木)からやむなく臨時休館とした。休館中も本や資料の提供を継続するため、ゴールデンウィーク中、再開に向けた準備のための完全休館時を除いて、臨時窓口を開設して予約資料の提供、貸出資料の返却を行った。また、ホームページに「図書館員の本箱」の掲載や、電話でのナクソス・ミュージック・ライブラリーのID・パスワード発行を行い、外出しなくても本や音楽に親しめる機会づくりも行ってきた。コロナ禍において外出の自粛が求められる中、不十分ながらも資料と人を結びつける役割を継続することができた。開館を再開したのちも、感染症拡大防止のための制約はあったが、十分に対策を行うことで開館を継続できた。

第4次子ども読書活動推進計画の取り組みも新型コロナウイルスの影響を大きく受けた。図書館おはなしピクニックの中止、おはなし会の休止など、これまでの事業を実施することが困難となった。しかし、感染症対策を十分に行って中学生と作家の交流集会を開催、おはなし会も10月より再開することができた。また、ホームページに「図書館員がやってみた」を掲載したことや、絵本パック貸出館の増強、プレたかはたブッククラブなど、コロナ禍の中でも取り組めるものを積極的に行ってきた。

障害者サービスは、まず「知ってもらう」ことが重要である。令和2年度は、「利用案内」を放課後デイサービスや高齢者サービス事業所に発送してサービスのPRに努めた結果、新たなサービス利用者がうまれた。

地域・行政資料のデジタル化事業は、助成金を活用して実施することができた。529点の資料をスキャンし、422点を公開。非来館型サービスとして利便性が向上した。また、特に劣化が著しい資料は、原本を保存スペースに移管してデジタル資料を利用してもらうこととしたため、書架に余裕ができて資料が探しやすくなった。

各事業における図書館の自己評価は、次ページ以降の評価表のとおり。

7 令和2年度主要な取組（主要事業）／第3次日野市立図書館基本計画の取組内容

取組内容目次

令和2年度主要な取組（主要事業）	13
1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み	13
2 第3次図書館基本計画推進事業	17
3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業	26
（1）第4次子ども読書活動推進計画推進事業	26
（2）乳幼児へのサービス	28
（3）小中学生へのサービス	31
（4）青少年へのサービス	33
（5）学校支援	35
4 障害者サービス事業	37
5 地域・行政資料のデジタル化事業	40
第3次日野市立図書館基本計画の取組	42
1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします	42
2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります	48
3 市民の読書活動を推進します	51
5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します	61
6 サービスを提供する基盤を整備します	65

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

令和2年度主要な取組（主要事業）

事業項目	1 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組み
事業の概要	
<p>新型コロナウイルス拡大防止のために、以下ことに取り組んだ。</p> <p>【感染症対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルコール消毒液の設置、来館者がよく手をふれる箇所を定時に消毒。 ・窓、玄関（出入口）を開けることでの換気、来館者へ感染症対策を呼び掛け。 <p>【緊急事態宣言時（1回目）4月8日（水）～5月25日（月）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全館臨時休館、臨時窓口開設（4月9日（木）～5月8日（金）） ・全館完全臨時休館（5月9日（土）～5月19日（火）） ・全館臨時休館、臨時窓口再開（5月20日（水）～5月31日（日）） <p>【緊急事態宣言時（2回目）1月8日（金）～3月21日（日）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集会室（中央）、読書会室（高幡）、談話室（百草）の夜間の利用時間を制限。 ・平山季重ふれあい館の利用時間を、図書館開館時間内とした。 	
事業の成果	
<p>【緊急事態宣言発令前の対応】</p> <p>3月2日（月）からの学校休業が要請される中、三多摩でも図書館の休館を決定する市が大多数であったが、日野市立図書館では、三密を避ける呼びかけと、サービスの一部制限を行うことで通常開館を続けた。</p> <p>*制限したサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会・おたのしみ会の休止（令和2年10月に再開） ・集会室等の利用中止（中央・高幡・百草） ・休憩スペース（中央）、自習スペース（高幡）、交流スペース（平山）の利用休止（令和3年3月に再開） ・館内滞在時間の縮小を要請（30分程度 7月1日（水）から2時間程度）、館内の閲覧用いすの数を半減 ・館内放送や掲示物による、感染防止対策の呼びかけ。 <p>【緊急事態宣言（1回目）中の対応（4月9日（木）～5月31日（日））】</p> <p>緊急事態宣言により集会・展示施設（博物館、図書館など）にも都が休止を要請する中、日野市においても図書館を臨時休館とすることとし、臨時窓口を開設した。期間は4月9日（木）から5月6日（祝）までと設定し、各館とも通常のカウンターではなく、入り口付近に臨時カウンターを設けて対応した。臨時窓口で対応したサービ</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

スは次のとおり。

- ・予約した資料の貸出
- ・資料の返却

＊外出自粛を促す観点から、通常は2週間である貸出期限、予約資料取り置き期限とも、臨時休館終了後2週間まで延長

- ・おむつ袋の配布
- ・ナクソス・ミュージック・ライブラリーの ID、パスワード発行（電話受付も臨時で行った。その結果、年間のパスワード発行数が前年度より増加した。）

また、4月12日（日）以降、資料の予約は、電話、インターネット、電子申請も含めて受付を休止した。レファレンスについては、電話でのみ受け付けたが、資料の提供は行わないものとした。

4月29日、5月3日～6日の祝日は、外出自粛を促すために完全休館として、臨時窓口も休止とした。

開催を予定していた「図書館おはなしピクニック」（4月19日（土）・26日（土））も中止とした。

5月6日（祝）までと予定されていた緊急事態宣言の期間が延長され、臨時窓口の対応を継続した。さらに、感染症拡大防止対策と開館に向けての準備のため日野市立図書館は、5月9日（土）から臨時窓口も休止して完全休館とした。5月15日（金）からはインターネット、電話による予約受付を再開し、5月20日（水）から臨時窓口での予約資料の貸出を再開した。（20日からは児童書のみ貸出。一般書は5月26日（火）から）

移動図書館ひまわり号も、4月9日（木）から巡回を休止した。中央館、地域館の臨時休館と合わせてホームページや掲示物でこのことをお知らせするとともに、移動図書館ひまわり号が巡回しているサービスポイントに設置している、次回巡回日をお知らせするボードを利用して巡回休止の周知を行った。

この緊急事態宣言の間、職員はテレワークにより、半数が出勤し、半数が自宅で仕事をする体制をとった。4月13日付で職員課より通知があり、在宅型テレワークが日野市において開始された。これは、感染症拡大防止の観点から、職員が自宅において勤務するもので、正職、再任用職員、会計年度任用職員すべてが対象。図書館においても、出勤者のうち半数をテレワーク勤務とする体制を組んだ。テレワークにおいて、正職、再任用職員は各業務マニュアルの見直しや改定、各種統計のまとめ、テーマ展示の企画作成、開館に向けての準備等の業務を行った。会計年度任用職員は、図書館ホームページを活用した研修、読書パスポートの記念品等の作成を行った。この

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

テレワークは、緊急事態宣言中の実施とされていた。図書館も5月26日（火）から開館に向けての準備のため、テレワークをやめて通常の出勤体制とした。

臨時休館は5月31日（日）まで継続し、6月2日（火）より臨時休館前と同様に一部サービスを制限しながら、通常開館を再開した。また、移動図書館ひまわり号も6月2日（火）より巡回を再開した。

【緊急事態宣言（2回目）中の対応（1月8日（金）～3月21日（日））】

通常開館を継続しつつ、夜間20時以降の外出自粛要請を受け、施設の一部利用を休止とした。

- ・中央図書館集会室・高幡図書館読書会室・百草図書館談話室の夜間利用は図書館閉館時間まで。（火曜日～金曜日は19時まで、土曜日・日曜日・祝日は17時まで）
- ・平山季重ふれあい館ブラウジング利用は図書館閉館時間まで。（火曜日～金曜日は19時まで、土曜日・日曜日・祝日・月曜日は17時まで）
- ・宣言期間中、おはなし会を休止。

【感染症対策】

- 令和2年度予算で補正を2回行い、コロナ対策経費として2,323千円を計上した。この予算を活用して以下の対策を行った。

- ・遠隔会議用タブレットを購入し、館内会議を遠隔会議で実施できる体制を整備。また、図書館協議会令和2年度第4回会議を遠隔会議で実施。
- ・館内消毒用液など、消毒に必要な用品を購入し、館内消毒を実施。
- ・手指消毒液を購入し、館内に設置。
- ・飛沫防止用アクリル板や、ビニールシートを全館のカウンターに設置。
- ・資料の装備に使用するフィルムは、抗菌仕様のものを購入。
- ・イベント時に参加者の体温を測定する非接触型体温計を購入。

- 館内放送による、手洗い、咳エチケット、マスクの着用、滞在時間を短くすること、換気していることへの理解と協力の呼びかけを実施。

- ・マスク着用など、おおむね来館者の協力をいただくことができた。マスクを忘れた方も稀にいらっしゃったが、用意しておいたマスクで対応し、協力していただいた。
- ・夏期、冬期も窓を開けて換気を常時実施した。館内温度に気を付けながら冷暖房を運転したので、窓を開けていることへの苦情等はなかった。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

●おはなし会等、イベント開催時には感染症対策を徹底した。10月から再開したおはなし会においては来館者に、来館前の体調確認（検温等）、手指の消毒・手洗い、マスクの着用、発声を控えること、万一感染症を発症した場合の連絡をお願いするとともに、以下の対策を行った。

- ・参加人数を部屋の定員の5割に制限
- ・参加者の連絡先を記録
(利用者カード番号または氏名・電話番号を控える。記録は2週間保管。)
- ・時間短縮（30分→15分）
- ・参加者同士の間隔を保つためのマーキング
- ・常時換気（天候により定期的な換気）
- ・机等の手指が高頻度に接触する部位の消毒（次亜塩素酸ナトリウム希釈液等）
- ・手指消毒液設置に努め、手洗いの協力を呼びかける
- ・職員の勤務前の体調確認（検温等）
- ・職員の手洗いの徹底
- ・職員の発声による飛沫防止（マスク着用と飛沫防止シート設置）

他のイベントにおいても、参加人数の制限等により密を避ける、手指消毒の徹底、飛沫防止、検温などの体調確認等の感染防止対策が取られた。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・引き続き、感染症対策を万全にすること。

【改善策】

- 開館中は次の感染症対策を行う。
 - ・開館中の換気、人の手が触れることが多い場所の定期的な消毒
 - ・できるだけ短時間での滞在、手指消毒、マスクの着用を、館内放送や掲示物をつかって利用者に呼びかけを行う。
- おはなし会等のイベントを開催する際には、感染症対策を十分に行い、密にならない状況を作る。
- 会議、イベント、職員研修においては、できるだけオンラインで行うようにする。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 第3次図書館基本計画推進事業
事業の概要	
<p>第3次図書館基本計画（平成30年度～令和4年度）に基づき、市民が求める資料・情報の提供を推進し、本を通じて人がつながる取り組みや地域の特性を考慮した取り組みを実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地域館が地域の特性と課題を踏まえた取り組みを実施。 ・移動図書館のより効果的な巡回場所・巡回方法を検討 ・地域資料・行政資料を収集・提供・保存するための、より網羅的で効率的な手法の構築 	
事業の成果	
<p>新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のために、図書館だけではなく各方面での事業が縮小される中、各地域館で以下の取り組みを行った。</p> <p>【高幡図書館】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若者の活気に満ちた図書館をめざし、日野ヤングスタッフの活動を支援することとしている。日野ヤングスタッフは、高校生や大学生などの、本が好きな人たちの集まりで、同世代に向けて図書館や読書の魅力を伝えるため、イベントや本の紹介など様々な活動を行うこととしている。令和2年度の取組は、「主要事業2-（4）青少年へのサービス」を参照。 ・近隣にある多摩動物公園という地域資源を活かして、展示企画「日野を知る～もっと知りたい動物園・水族館～」を11月に行った。この展示では多摩動物公園にPR誌の提供を依頼、配布。身近な場所を再度知ることになったと話される方もあり、展示資料もよく貸し出された。併せて、児童室でも関連図書を展示コーナーに配置するとともに、子どもたちによる動物のぬり絵をもとに作成した「みんなの動物園ポスター」を掲示。自分の作品（ぬりえ）が貼りだされて喜ぶ姿や、なかなか普段は借りられない本が展示コーナーから借りられる様子も見られた。 ・小学生向けのおはなし会をリニューアルし、「たかはたブッククラブ」として、連続した3か月を1期とし定員制をとり、今年度3期実施のはずだったが、新型コロナウイルス感染症の広がりがあり、休止。実施形態を変更して1か月単位の「プレたかはたブッククラブ」として10月・11月に実施した。（詳細は、「主要事業2-（3）小中学生へのサービス」を参照） 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

【日野図書館】

まちのアンテナとして活動する日野宿発見隊を支援し、まちの魅力を発信している。令和2年度は日野宿発見隊とともに、以下の活動に取り組んだ。

- ・日野宿発見隊第95弾として「日野駅開業130年記念絵葉書」を発行。地域の方に提供していただいた写真の中から、日野駅にまつわる写真を選び、絵葉書セットを300部作成（好評につき約1か月後、300部増刷）。絵葉書をきっかけに昔話がはずんだとの声が届いた。
- ・日野宿発見隊第96弾「八坂の祭り まちかど写真館 in ひの」を実施。八坂神社の祭りが中止となったが、雰囲気少しでも味わってもらうために、昭和の後期から昨年までの祭りの写真を74点、八坂神社玉垣等に展示した。（9月1日（火）～9月30日（水））
- ・日野宿発見隊第97弾として、「日野駅開業130年記念WEB講演会（講師：今尾恵介氏）」をYouTube配信した。現在もYouTubeで見ることができる。
- ・日野宿発見隊第94弾 まち歩き会「線路沿いを歩く - 微に入り細に入り-」を3月20日（土）に開催。この企画は日野駅開業130年を記念して前年度に行われる予定であったが、新型コロナウイルス感染防止のために延期し、十分な感染症対策を行ったうえで開催したもの。130年間にわたって日野市民の生活を支えてくれた日野駅や鉄道施設の歴史を偲ぶ、のどかな早春のまち歩き会となった。参加者より、「発見がたくさんあった」「楽しかった」との感想が寄せられた。（参加者18名）

また、日野図書館はスペースがないことからおはなし会を開催していなかったが、平成30年度から児童室の閲覧スペースを使っておはなし会を開催した。日野図書館は生活保健センターが近くにあり、乳幼児健診の帰りに立ち寄る親子など、乳幼児連れの保護者の利用が多い地域館である。この地域特性を活かして、乳幼児を対象としたおはなし会を10月、11月、12月に各1回ずつ実施した。12月はサンタクロースとトナカイの衣装を着用し、寸劇仕立ての特別なおはなし会を提供、参加した子どもたちにより図書館に親しみをもってもらうことができた。

感染対策を取りながら、仲田小2年生の町たんけん（図書館見学）、第七小4年生の施設見学、第一小さくら組の図書館見学を受け入れた。延べ94人の児童が来館し、図書館利用のきっかけになった児童もいた。

※日程：仲田小 10月29日（木）、11月5日（木）

第七小 11月17日（火）

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

第一小 12月7日（月）

【多摩平図書館】

複合施設の特徴を生かして、施設内の子育て関連施設との連携を進めている。例年、相互に出張イベント、講座の開催、招待おはなし会などを行っているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、いずれも実施できなかった。

毎年、施設全体で開催してきた「多摩平の森ふれあい館まつり」も中止となった。このイベントで、例年図書館が実施していたリサイクル資料の頒布は「図書館リサイクルフェア」として、まつりが予定されていた2月13日（土）に感染症対策を十分に行い実施した。当日は、天気にも恵まれ、450名ほどの方が来場し、用意したリサイクル資料約3,800冊のうち、約7割の2,761冊が新たに活用された。小学生向けの本をみつけて小さいころを懐かしんでおられる年配の方や、「こんな雑誌もあったのか」など新しい発見をして帰られた方など、来場された方は思いがけずに見つけた本や雑誌を手に満足されているようだった。

日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」との連携に向けてパスファインダー「P l a n Tをご利用のみなさまへ -日野市立図書館ビジネス支援のご案内-」を作成し、30部配布した。また、資金調達やテレワークに関するビジネス支援資料を30冊程度収集したが、新型コロナウイルス感染症の影響で積極的な連携・活動はできなかった。

また、近隣に医療機関が多いことから、医療・介護情報コーナーの見出しを目立つように工夫し、古くて役に立たない資料がないよう、内容の更新に努めた。

そのほか、多摩平団地についての地域資料コーナーを設置する方向で検討を進めている。10月の全館共通テーマ展示「日野を知る」では、「多摩平団地～団地のある風景～」を実施した。その過程でどのような資料があるかの把握ができ、令和3年度の設置に向けての準備が進んだ。このテーマ展示では、郷土資料館から50年前の多摩平団地のパネル写真を借用して一緒に展示し、たいへん好評だった。

【平山図書館】

平山季重ふれあい館という複合施設内にある利点を活かして、ふれあい館内での展示や館に入っている各団体との連携を図る方針であった。展示に関しては、平山季重に関するクイズ第二弾を作成してふれあい館1階廊下に展示。図書館来館者以外にも見てもらうことができた。連携に関しては、子育てひろば平山ぽっかぽかは、予約制・定員入替制・消毒等の十分な感染症対策を行っていることから、ぽっかぽかへの出張

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

おはなし会を5回実施した（参加人数 のべ大人 34 人、子ども 35 人）。おはなし会ができない時でも、おすすめの絵本を届けるなどして、連携をはかった。一方で、市民主催の「ひらやまえんにち」に合わせて、平山季重ふれあい館合同企画を実施する予定であったが、新型コロナで「ひらやまえんにち」が開催されなかったため、合同企画も実施できなかった。

闘病記コーナーの充実を推進した。令和2年度は闘病記や介護記の新刊図書20冊収集し、コーナーに配架した冊数は262冊となり、コーナーの充実を推進することができた。9月の市内3館での認知症テーマ展示に合わせ、闘病記コーナーのチラシを作成し、市内全館で200部配布して、平山図書館に闘病記コーナーを設置していることをPRした。

感染対策を取りながら、滝合小2年生の社会科見学を受け入れた（10月19日（月））。図書館についての質問等は書面でのやりとりとなったが、読書パスポートを配ったことがきっかけとなり、見学後、「この前、見学で来たよ」と言って来館する児童が見受けられた。

【百草図書館】

地域につながる図書館をめざすために、平成30年度から三沢中アクションプラン実行委員会と連携した取り組みを行ってきた。図書館談話室で会議を行うことで、図書館の存在を知ってもらい、地域の方の顔が見える関係作りが出来てきた。令和2年度は具体的には、談話室を会場とした本の紹介イベントや地域の方による百草図書館の入り口の看板づくりを、三沢中アクションプラン会議と協働で実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となっている。

三沢中地区アクションプラン会議と連携を進める中で、「ぐっときた一文」を募集してみてもどうか？というアイデアをいただいた。このアイデアを「図書館本X」という企画にして試行した。この企画は、利用者の方や職員が選んだ本の中のおすすめの一文を袋に貼り、その本を袋に入れて中身がわからないようにして貸し出すもの。利用者から「とても素敵な企画で、よい本と出会うことができた」と感謝の手紙をいただいた。

駅前子育て応援施設モグモグに、令和2年9月から団体貸出として、図書館員が選んだ本を毎月20冊ずつ貸出しを開始した。（令和2年度は140冊貸出）図書館員が選んだ本が子育てカフェで利用され、図書館への利用にもつながった方がいるとのお声をいただいた。

夏休み・春休み期間中の三沢中の「ちょこっとボランティア」の受入を行った。感

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

染防止対策を取って、図書館を身近に感じていただけるようにのべ13名の中学生に仕事を手伝ってもらった。

毎月のテーマ展示資料置き場や、百草地域関連資料を収集したブックトラックを入り口付近に設置したことにより、手に取ってもらう機会が増えた。

感染対策を取りながら、八小2年生のまちたんけん（図書館見学）を受け入れた。（10月8日）図書館についての質問なども受け、身近に感じてもらったようだ。

児童室の掲示板に、来館した子どもたちが自由に好きな本について自由に書いてもらったり、本の題名のしりとりゲーム、手袋の型紙に絵を書いてももらったものを集めて「手袋を探せ」というクイズ、星のシールを子どもたちに貼ってもらい自由に星座を作ってみようなどのポスターを作成、1階ギャラリーに掲示した。クイズの答えを書いてカウンターに持ってきた子にプレゼントを渡すなど、楽しんでもらえる仕掛けを工夫した。

*アクションプラン実行委員会：市内8中学校区ごとに、「地域が行う地域課題解決の取組み」を平成26年度より検討。「地域がつながり動き出す」をテーマとした企画を地区ごとの実行委員会が実施しているもの。（主管課：地域協働課）

【移動図書館ひまわり号】

21 か所のサービスポイントに月2回巡回し、建物の図書館から離れた地域を補完する役割を担った。また、53団体を巡回して団体貸出を実施（年3回）。53団体の内訳は保育園、学童、病院で、特に子どもたちに本に親しんでもらうことができた。

21 か所のサービスポイントのうちの1か所である新旭が丘地区センターは、平成30年4月から地域の要望に応じた地域の文化づくりを支援することを目的に巡回を開始した。令和2年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を取り、感染を防止しつつサービスを実施した。このサービスポイントでの年間貸出冊数は4,688冊（巡回数22回）。緊急事態宣言に伴う巡回中止や地区センターの休館もあったが、昨年に比べ貸出冊数は56%増となった。（令和元年度は貸出冊数2,984冊／巡回数24回）

地区センター内に資料を常置し、巡回時の利用者層に合わせた資料を入替え、補充する形で行っているが、日々施設を管理している方からは、常置する資料を利用する方が増えたとのお話をいただいたところである。

市民ボランティアによる読み聞かせを開始当初から実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響のため中止。新旭が丘地区センターでのおはなし会は、子どもたちが自由に出入りするために密になりやすく、動き回る状況であり、通常のおはなし

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

会とは状況が異なるため、読み聞かせを再開するためのやり方等について、担当者間で検討を行った。飛沫防止を飛沫防止シートともにフェイスシールドで徹底し、子どもが座るマットの距離をとる、密を避けるために順番に聞いてもらう体制をつくることで、令和3年度より再開することができた。

この新旭が丘地区センターでの取り組みを活かして、令和3年度より「石田地区公共施設」（石田環境プラザ）への巡回を開始する予定であり、開始に向けての準備を行った。現在の巡回日程を見直して、「石田地区公共施設」（石田環境プラザ）への巡回を巡回スケジュールに組み込み、ごみゼロ推進課と調整を行いながら、巡回日時や施設内でのサービス内容等を確定させた。また、施設内に常置する資料については、ごみゼロ推進課とも相談しつつ幅広いジャンルの資料を選定・購入した。（約150冊）

【市政図書室】

「日野に暮らした文化人-第2回- 歿後40年 田中冬二」と題した資料展示を6月6日（土）から9月30日（水）まで開催した。これにあわせて、地域資料として古書（田中冬二研究 1～5 山嶋の会／編 1982～84年）と田中冬二ゆかりの文学館（高志の国文学館・富山県、こおりやま文学の森・福島県）から展示図録2点を収集した。

「交流都市紹介-第1回- 会津若松市」を10月1日（木）から12月28日（月）まで開催。会津若松市から寄贈された資料5点と「ビジュアル版会津若松市史」など28点を購入し展示。観光パンフレット9種類も配布しPRを行うことができた。

デジタルサイネージ（PONTANA）には15の課から計55件の依頼があり、情報を掲載した。市の施策・事業などを随時把握できる情報発信ツールとして、さらに活用を進めた。

【中央図書館】

「子どもの頃から、ひまわり号や中央図書館のお世話になったお礼として」とのお申し出を受け、中央図書館に閲覧用の椅子20脚をご寄附いただいた。1月より、中央図書館1階の中庭を臨む空間に、開館時設置以来の年季の入った椅子たちと取り替え、設置している。カウンターで「いい椅子に替えたね」というお声掛けを多数いただいたところである。

2月13日（土）、出版社夏葉社の代表、島田潤一郎さんのトークライブを開催。中央図書館耐震補強工事記念として、令和元年度に実施する予定であったものを延期

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

して開催したものである。実施にあたっては、来館での参加に加えて、ZOOMを利用したオンライン配信も実施した。参加人数は来館・オンライン配信いずれも満杯となった（来館 20 名、オンライン配信 80 名）。オンライン配信のイベントは日野市立図書館としては初めての試みであったが、オンライン参加の方から、「オンライン配信のおかげで遠方からも参加できてとても良い企画だと思った」、「本を読みたくなった」、「図書館へ行きたくなった」、などの声が寄せられた。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・地域館ごとでの地域の特性を生かし、ニーズを汲んだ特徴ある取り組みを継続すること。
- ・移動図書館ひまわり号の石田地区公共施設（石田環境プラザ）への巡回を開始し、新旭丘地区センターと同様の文化づくりを支援する。
- ・様々なイベントにおいて、オンラインでの取り組みを試行する。

【改善策】

各館で、以下の取り組みを令和3年度に実施する。

●高幡図書館

- ・高幡図書館および図書館ホームページのヤングコーナーを活用し継続的な情報発信を行う。
- ・近隣にある多摩動物公園・高幡不動といった地域資源を活かした展示等の取り組みを行う
- ・「たかはたブッククラブ」を実施し、各館での小学生へのサービスに活かせるよう検討する。

●日野図書館

- ・日野宿発見隊の活動について、新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、状況の変化に合わせ、柔軟な活動を企画・実施する。
- ・街道沿いという立地のため、施設等の所在地を尋ねられることが多い。頻繁に問い合わせを受ける施設等の所在地を全職員が案内できる体制をつくり、町の情報センターとしての図書館の役割を果たす。
- ・感染症対策を十分に行いながら、乳幼児向けのおはなし会を継続する。新型コロナウイルスの影響で参加者が激減していることから、感染症対策を行いながら開催していることを効果的にPRする方法を検討し、実施する。

●多摩平図書館

- ・子ども家庭支援センター多摩平やたまだいら児童館との連携をさらに深めてい

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

く。

- ・近隣の保育園や幼稚園の来館時の対応について再検討し、図書館サービスのPRに努める。
- ・医療情報コーナーを知ってもらうため、また、必要な資料を探しやすくするためのパスファインダーを作成するなどコーナーの内容をPRする。
- ・PlanTとの連携について、検討・実施する。
- ・地域資料コーナー（多摩平団地について）の設置について準備・実施する。

●平山図書館

- ・平山季重ふれあい館の構成部署と連携し合同企画を実施する。
- ・引き続き、闘病記・がん情報・認知症に関する資料の収集・提供を推進する。
- ・地域のイベントに合わせて関連資料を展示する。
- ・児童室におすすめ本のコーナーを再開する。
- ・展示課題のSDGsに関連した資料の展示を行なう。

●市政図書室

- ・市政図書室で販売している日野市の有償刊行物一覧の表紙画像・目次等を図書館ホームページから閲覧できるようにする。
- ・デジタルサイネージ（PONTANA）に市の刊行物やイベント情報を掲載し、市政情報の収集と発信を進める。

●百草図書館

- ・三沢中地区アクションプラン実行委員会との連携。延期されていた看板作成の実施。
- ・三沢中ちょっとボランティア受入等により、図書館を身近に感じてもらえるように地域学生に向けたPRの実施。
- ・館内BGMで、貸出につながった例が増えている。BGMも意識しながらCDを選書氏、CD所蔵館のPRに努める。
- ・地域にある施設との連携を図る。具体的には、子育て応援施設モグモグへの団体貸出と、読み聞かせに出向くことでの交流の継続。郷土資料館との連携展示。
- ・子ども利用者参加型のポスター掲示や、上足スペースの設置等による本に親しみやすい児童室づくり。
- ・ギャラリー、掲示板を有効活用し、地域情報チラシ・ポスターの積極的な収集と掲示を行う。

●移動図書館ひまわり号

- ・石田環境プラザへの新規巡回のPRを中心にひまわり号全体の巡回PRを行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- 旭が丘地区センター・石田環境プラザへは団体貸出で施設に資料を常置して、施設利用者への利用促進を図る。
- 石田環境プラザごみゼロ推進課や石田地区自治会等と連携して、施設内での新たなサービスを検討する。
- 団体貸出の巡回日程を見直しなど、新規団体への巡回サービス実施に向けた調整を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (1) 第4次子ども読書活動推進計画推進事業
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの読書活動を推進することを目的としたイベントを実施する。 ・計画の推進にあたり、関係各課実施状況の調査をまとめる。未着手の部分を洗い出し、計画的に取り組めるようにするとともに、進捗状況を図書館協議会や教育委員に報告する。
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・関係各部署に対して計画の進捗状況調査を行い、新型コロナウイルス感染症が広がる中、各事業の休止が相次いだ。オンラインのおはなし会の開催、絵本セットの貸出、絵本コーナーの整理など各部署が工夫をした活動を行ったことが、調査から読み取れた。 ・図書館では、ホームページ内の子ども向けページで「おうちでも楽しめるサイト」として、文部科学省「子供の学び応援サイト」・多摩動物公園「ぬりえどうぶつえん」で、ぬりえをたのしもう！など、家にいても楽しめる子ども向けサイトを紹介。その後、図書館作成のサイトとして、図書館の本を見て司書が工作や料理を行う様子を伝える「図書館員がやってみた」を掲載。普及啓発事業である「おはなしピクニック」の代替とした。 ・これまで定期的に行っていた「子どもの読書に関するボランティア懇談会」も新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。このため、新型コロナウイルス感染症の影響がそれぞれの団体にもたらした影響を知るため、アンケートを行った（対象14団体）。子どもを前にする行事は再開できていない状況があり、この期間に研鑽を積んでいる様子が見られた。
事業の課題と改善策	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部署における第4次子ども読書活動推進計画にある事業の推進。 ・オンラインを活用した取り組み。 ・ボランティア団体の活動を把握し、図書館がそのハブとなる。 <p>【改善策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大が、子どもの読書活動を推進する上でどのような影響を与えているのか、今年度も関係各部署に調査を実施し、それぞれの活動が各部署の課題解決の糸口となるよう、結果をフィードバックする。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- 引き続き図書館ホームページで子どもと本とを結びつけるコンテンツを充実させると同時に、感染症対策を十分とり、できうる範囲で「おはなし会」等、子どもの来館時にできるサービスを実施、検討する。
- 昨年度、子どもの読書に関するボランティア団体に対して行ったアンケートを図書館ホームページに掲載し、その活動を広報する。また、新型コロナウイルス感染症の状況に注視しながら「子どもの読書に関するボランティア懇談会」の開催を検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (2) 乳幼児へのサービス	
事業の概要	第4次日野市子ども読書活動推進計画にも基づき、0歳児から就学前までの乳児・幼児および保護者の読書活動を推進する。	
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・健康課主催ママパパクラスで紹介する図書リストのホームページ掲載。 毎年行ってきた、ママパパクラスでの図書館利用案内は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ママパパクラスがオンライン開催となったことにより休止。これに伴い、図書館ホームページに、「これからお子さんを迎える方へ」のページを作成、ママパパクラスの案内とともに、これまで講座で紹介してきた本のリストを掲載する形で、対面で行う図書館利用案内の代替とした。 ・おはなし会 0・1・2歳児向け、3歳以上の児童向けのおはなし会については、緊急事態宣言(1回目)後から9月まで休止したが、感染症予防対策を徹底して10月に再開した。しかし、1月に再度緊急事態宣言が出され、宣言期間中は再び休止とした。令和2年度は25回開催。延べ126名(子ども68名大人58名)の参加があった(令和元年度は95回開催、延べ1,608名。子ども915名大人693名) 各館の開催状況は次の通り 	
	開催日	参加者数
中央	10/14(水)10/22(木)11/11(水)11/26(木) 12/9(水)12/24(木)3/25(木) 7回	子ども 12名 大人 11名
高幡	10/7(水)11/4(水)12/2(水) 3回	子ども 8名 大人 7名
日野	10/21(水)11/18(水)12/16(水) 3回	子ども 9名 大人 7名
多摩平	10/8(木)10/28(水)11/12(木)11/25(水) 12/10(木)12/23(水)3/24(水) 7回	子ども 26名 大人 22名
平山	11/19(木)12/17(木) 2回	子ども 4名 大人 4名
百草	10/21(水)11/18(水)12/16(水) 3回	子ども 9名 大人 7名

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

・乳幼児向けリストの改訂

図書館や健康課で配布している0～2歳リストと3～5歳リスト（2012年作成）を改定した。各5,000部ずつ作成し、図書館、健康課で配布している。図書館ホームページにも掲載した。

・絵本パック貸出館の増強

中央図書館で実施していた絵本パックの貸出を、地域館（高幡・日野・平山・百草）でも行い、新型コロナウイルス感染症の影響で貸出状況に制限がある中で、短い来館時間内でも乳幼児の保護者が手軽に絵本を借りていけるような体制を整えた。

高幡図書館

2月からテーマ別に絵本（0・1・2歳対象）3冊を袋に入れて貸し出す「絵本パック」を6セット設置した。のべ33冊が貸し出された。

日野図書館

2月20日（土）より、テーマ別に絵本（0～5歳対象）3冊を袋に入れて貸し出す「絵本パック」を5セット設置した。3月の一か月間で、のべ9冊が貸し出された。

平山図書館

テーマごとに3冊の絵本を入れたバッグでさっと借りていただける絵本パックを6月から開始した。7パックでスタートし、1月に11パック増やして現在は18パックを提供している。2月～3月の2か月で絵本パックの絵本ののべ貸出回数は57冊であった。

百草図書館

「絵本パック」の貸出（0・1・2歳児向け3冊セット）を2月から開始した。また、試行で3～6歳児向けの絵本を5冊ずつ袋に入れて中身を見えないようにし、テーマを「わらう」「こわい」「おやつ」「どうぶつ」など複数テーマの福袋のようなパックを用意し、1か月間期間限定で行ったところ、のべ90冊の貸出があった。「図書館員が選んだ本が、普段自分が選ぶものと違って新鮮で楽しく、またやってほしい」など好評の感想をいただいた。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・再開したおはなし会の継続。
- ・家でも本に親しむための、ホームページコンテンツの充実。
- ・乳幼児リストの効果検証

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・地域館で開始した絵本パックの継続と、利用者の声を聞きながら発展させること。

【改善策】

- ・健康課主催ママパパクラスで紹介する図書リスト（ホームページ掲載）の更新
- ・十分な感染症対策をとったおはなし会の実施
- ・おはなし会が実施できない場合も勘案した、代替案としての乳幼児向けホームページコンテンツ検討
- ・短い滞在時間で絵本が借りていける、絵本パック貸出事業の充実

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (3) 小中学生へのサービス
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生向け資料の充実 ・中学生と作家の交流事業 ・中学生職場体験受け入れ ・本の森学級文庫の充実
事業の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が広がる中、小中学生関連の各種事業も中止・休止をせざるを得なかったが、回数は少ないが開催することができた事業もあり、子どもと本をつなぐきっかけとなった。 ・乳幼児向けのおはなし会は10月より再開したが、小学生向けのおはなし会については、感染症対策が十分に行えるかどうかを検討するために休止を継続した。 ・小学生向けのおはなし会をリニューアルし、「たかはたブッククラブ」として、連続した3か月を1期とし定員制をとり、今年度3期実施のはずだったが、新型コロナウイルス感染症の広がりがあり、休止。実施形態を変更して1か月単位の「プレたかはたブッククラブ」として10月・11月に実施した。各回5名の参加があった。職員によるテーマにちなんだ本の紹介、図書館探検クイズ等を実施。普段は見慣れないであろう成人書架にまで子どもたちが足を延ばすきっかけになった。また、会を休止しなければならなかった月は、職員が選定した「本の福袋」を貸し出したり、「読みたい本が見つかるフローチャート」などを作成。「図書館探検クイズ」も併せてカウンターで配布し、ブッククラブ参加者だけでなく、たくさん子どもたちに図書館の楽しさを伝えることができた。今後他館での小学生向けおはなし会を魅力あるものにしていくモデルとする。 ・小学3年生を対象に行っている学校訪問（図書館ガイダンス）を、6校に実施した。 ・「本の森学級文庫」「特別な支援を必要とする児童・生徒へのサービス」については、「主要事業2-（5）学校支援」の項目を参照 ・中学生と作家の交流事業として、金原瑞人氏をお招きし、講演会を11月1日（日）に開催した（参加者42名）。事前に市内各中学校の中学生19名と企画運営会議を1回行った。感染症対策に配慮した形式で会議や講演会を進行するなど、例年とは異なる部分もあったが、生徒が活発に意見を出し合い、学校や学年を越えて交流することができた。講師の金原氏が紹介した本を講演会終了後に詳しく調べていく生徒も見られ、読書の興味の幅を広げることにつながった。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業の課題と改善策

【課題】

- ・おはなし会の再開、たかはたブッククラブの継続。
- ・中学生と作家の交流集会の継続

【改善策】

- ・小学生向けおはなし会をリニューアルした「たかはたブッククラブ」については、新型コロナウイルス感染症の状況に注視し、対策を十分にとり参加人数を限定、3か月を1期として実施する。また他館の小学生向けおはなし会についても、「たかはたブッククラブ」を参考にするなどして、リニューアルできないか検討する。
- ・小学校3年生を対象に行っている学校訪問（図書館ガイダンス）については、訪問先の学校と感染症対策について十分に認識を共有し、担当する各地域館の魅力を伝えるガイダンスに取り組む。
- ・絵本から読み物へ移行する段階で、読書に困難さを抱く子ども（小学校2年生程度を想定）とその保護者に向けた、本の世界の楽しさを伝えるリストの発行を検討する。
- ・中学生と作家の交流事業として、中学生と作家や本と関わりのある人を招き、中学生の企画による中学生対象の講演会を実施する（中学生をメンバーとする企画運営会議を事前に3回行う。講師は佐竹美保氏を予定）。感染症の拡大状況も考慮し、企画運営会議が中止となった際も対応できるよう準備を進める。また、講演会のオンライン配信も検討する。
- ・中学生職場体験受け入れについては、感染症対策を十分にとり、体験希望のあった学校から生徒を受け入れる。不特定多数との接触を避けたプログラム（カウンターでの貸出返却業務を行わない等）を設定しつつも、図書館で働くことの意義、楽しさを得てもらうよう取り組む。
- ・本の森学級文庫の充実については、主要事業2-（5）学校支援」の項目を参照

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (4) 青少年へのサービス
事業の概要	第4次子ども読書活動推進計画に基づき、青少年の読書活動を推進する
事業の成果	<p>●日野ヤングスタッフと他団体との交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践女子大学図書館学生スタッフ主催のオンラインイベント「リレーブックトーク」に参加（8月12日（水） 学生スタッフ6名、ヤングスタッフ1名） ・実践女子大学学園祭「常盤祭」でのビブリオバトルに参加する予定であったが、コロナの影響で、常盤祭は大学関係者のみのオンライン開催となったため、ヤングスタッフの参加は中止となった。 <p>●発行物作成・情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ヤングスタッフ活動日誌」の更新（4回） 「旬の推し本」の更新（3回）*うち1回は番外編として高幡図書館と多摩平図書館で展示を実施 ・ヤングスタッフによる展示の準備に着手 ・リレー小説に着手 ・作家リストの発行準備 <p>●各館での取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤング世代による展示 <ul style="list-style-type: none"> 「実践女子大学常盤祭 POP 展示」 2月25日（火）～4月8日（水）・高幡図書館 6月2日（火）～6月30日（火）・多摩平図書館 7月1日（水）～7月31日（金）・平山図書館 「推し本番外編～本と一緒に聴きたい音楽♪」 3月2日（火）～・高幡図書館、多摩平図書館 ・職員によるヤング世代向け展示 <ul style="list-style-type: none"> 「ちょこっと雑学」 4月1日（水）～ 「進路について考える」 2月2日（火）～ <p>●ヤングスタッフの増加</p> <p>ヤングスタッフの紹介で1名増（高校生1名）</p> <p>*令和2年度のスタッフ数・・・10名</p>

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

●その他の取り組み

コロナに伴い、ZOOMを使ったWeb会議を中心に活動を行った。会議は臨時休館期間明けから再開し、実施回数は6回であった。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・オンライン等を活用したヤングスタッフの活動継続。
- ・さらに多くの高校生、大学生が参加できる機会を広げ、活動を進展させること。

【改善策】

- ・Web会議を継続し、意見交換する機会を定期的に設けるようにする。
- ・実際に集まる機会がなくなってしまうことにくわえ、就活や受験などで活動の中心となるメンバーが減ってしまうが、Web会議の利用や、会議内容の共有などを行い、活動の継続を図る。
- ・ヤングスタッフホームページの更新を継続し、活動の発信を行う。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業 (5) 学校支援
事業の概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館を支援するために、小中学生が身近な学校図書館で本と親しみ、学習することができるよう、学校搬送便や読み物セット「本の森学級文庫」の配本を実施する。 ・また、小中学生の読書活動の推進を図るため、司書教諭連絡会での情報交換、学校からの依頼による調べ学習のための資料の搬送、貸出資料リストの提供等により、学校図書館との更なる連携の強化を図る。 ・図書館・学校図書館システムを活用し、より迅速、正確に学校図書館と情報共有する。 	
事業の成果	
<p>●本の森学級文庫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「本の森学級文庫」では、6学年が3クラスある学校（10校）に対して折りたたみコンテナ1箱分（約20冊）の増冊、配本事業の更なる拡充を図った。[小学校17校 各学年へ年3回（学期ごと）の配本。 <p>【本の森学級文庫配本実績】</p> <p>小学校17校各学年へ年3回（学期ごと）も配本。延べ51回 16,664冊（令和元年度実績 延べ51回 16,102冊）</p> <p>●学校搬送便</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の調べ学習・宿題・読書指導等で本が必要な場合、資料を各学校に学校搬送便で送り、貸出している。中央館、各地域間で所蔵している資料のほかに、学校搬送便に購入した資料を、学校からのリクエストに応じて貸出を行っている。 ・学校搬送便の資料を充実させるために、どの調べ学習用の資料が役立ったかなどを記入できるシートを同封し、その結果を選書・購入に反映させた。依頼の多いテーマ8項目については、溜め込みリストを作成した。 ・学校搬送便のリクエストを現在、ファックスで行っているが、教諭とのやり取りをスムーズに行い、担当者の作業を軽減するため、学校図書館の貸出システムである学校図書館システムを活用したリクエスト申込方法についての検討を行った。 ・市内小中学校の司書教諭が集まる司書教諭連絡会（10月27日（火）／場所：日野第四中学校）に参加し、学校搬送の前年度実績報告や活用方法等PRを行った。令和2年度は新型コロナウイルス感染症に伴う臨時休校などもあり、「調べ 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

「学習用資料搬送」の年間利用件数は減少している。

【学校搬送実績】

		学校数 (校)	クラス数 (クラス)	延べ回数 (回)	資料数 (冊)
調べ学習用 資料搬送	小学校	16 (17)	54 (51)	89 (125)	3,194 (5,600)
	中学校	4 (5)	5 (7)	9 (10)	489 (432)
特別支援学 級搬送	小学校	2 (2)	2 (2)	10 (13)	674 (755)
合計			61 (60)	108 (148)	4,357 (6,787)

※かっこ内の数字は令和元年度実績

事業の課題と改善策

【課題】

- ・本の森学級文庫の資料、学校搬送用資料の定期的な買い替え。
- ・学校図書館システムを活用した、搬送資料のリクエスト受付。
- ・学校図書館の担当者（司書教諭、学校司書）や教諭との綿密なコミュニケーションと連携

【改善策】

- ・司書教諭連絡会に参加して情報共有を行う。
 - 学校搬送の実績報告や「搬送申込書」「貸出リスト」の記入方法等の説明をする。「貸出リスト」には、搬送資料の使用頻度等の評価をしてもらう欄があり、選書・購入の参考となるため、積極的活用を呼び掛ける。
 - 本の森学級文庫配本の各校の活用状況を確認する。など
- ・学校図書館システムを活用した情報共有や新たな連絡方法の導入を引き続き検討する。
- ・学校支援の拡充に向けて、選書・運用に携わる担当者が情報共有する目的で「図書館内担当者会」を定期的実施する。連絡会で得た情報等も参考にして現サービス内容の見直し検討を行う。
- ・「配本」「学校搬送」サービスの職員用作業手順マニュアルを作成して係会や館内研修等で全職員へ周知を図る。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 障害者サービス事業																											
事業の概要	<p>通常の印刷文字での情報入手が困難な方や、図書館への来館が困難な方などに対し、情報提供や情報入手サポートを行う事業。主な実施内容は①音訳・点訳資料の作成・貸出②音訳・点訳者の養成③対面朗読④資料宅配サービス⑤読書機器の使い方指導。</p> <p>これらのサービスを図書館が行っていることを広く周知し、必要とする人に提供する。</p>																											
事業の成果	<p>① 音訳・点訳資料の作成・貸出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の音訳、点訳資料の作成、貸出状況は次のとおり <li style="margin-left: 40px;">点字図書 作成枚数：7,754枚（6500枚） <li style="margin-left: 80px;">貸出：396タイトル 568巻（394タイトル 533巻） <li style="margin-left: 40px;">録音図書 作成：DAISY図書 48タイトル 48巻（47タイトル 47巻） <li style="margin-left: 80px;">貸出：テープ図書 43タイトル 208巻（108タイトル 516巻） <li style="margin-left: 120px;">DAISY図書 3,565タイトル 3,565巻 <li style="margin-left: 160px;">（3,603タイトル 3,603巻） <li style="margin-left: 40px;">音訳者登録数 36名（40名） 点訳者登録数 14名（14名） <li style="margin-left: 40px;">※カッコ内は令和元年度の数値 <ul style="list-style-type: none"> ・録音図書、点字図書の他市との相互貸借の状況は次のとおり <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-left: 40px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th style="text-align: center;">貸出</th> <th style="text-align: center;">借用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">テープ図書</td> <td style="text-align: center;">タイトル数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">37（74）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">巻数</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">195（482）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">DAISY図書</td> <td style="text-align: center;">タイトル数</td> <td style="text-align: center;">8,078（7,360）</td> <td style="text-align: center;">1,291（1,112）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">巻数</td> <td style="text-align: center;">8,078（7,360）</td> <td style="text-align: center;">1,291（1,112）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">点字図書</td> <td style="text-align: center;">タイトル数</td> <td style="text-align: center;">4,985（4,859）</td> <td style="text-align: center;">109（111）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">巻数</td> <td style="text-align: center;">5,000（4,862）</td> <td style="text-align: center;">274（239）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">カッコ内は令和元年度の数値</p>					貸出	借用	テープ図書	タイトル数	—	37（74）	巻数	—	195（482）	DAISY図書	タイトル数	8,078（7,360）	1,291（1,112）	巻数	8,078（7,360）	1,291（1,112）	点字図書	タイトル数	4,985（4,859）	109（111）	巻数	5,000（4,862）	274（239）
		貸出	借用																									
テープ図書	タイトル数	—	37（74）																									
	巻数	—	195（482）																									
DAISY図書	タイトル数	8,078（7,360）	1,291（1,112）																									
	巻数	8,078（7,360）	1,291（1,112）																									
点字図書	タイトル数	4,985（4,859）	109（111）																									
	巻数	5,000（4,862）	274（239）																									
② 音訳・点訳者の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・音訳者の状況に合った講義内容で、3回講習会を実施した。新型コロナウイルス感染症対策で36名の音訳者の内14名の受講とした。 																											

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

③ 対面朗読

- ・緊急事態宣言による図書館の臨時休館の期間中（4月9日（木）～5月31日（日））は、対面朗読も休止した。再開にあたっては、飛沫感染防止シートの設置や手指消毒の励行、対面朗読を行う部屋の換気と手が触れる箇所の消毒を行い、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行った。
- ・令和2年度の対面朗読の実施状況は次のとおり。
118件 延べ293時間 延べ音訳者数217人
（令和元年度 98件 延べ283時間 延べ音訳者数189人）

④ 資料宅配サービス

- ・病気や障害など、何らかの事情で図書館まで出向くことが困難な方に本を届ける宅配による貸出は、職員と宅配ボランティアによって実施した。緊急事態宣言で図書館が臨時休館している期間も、4月12日（日）以前に受けたリクエストの宅配を継続した。感染症対策として、宅配ボランティア向けの新型コロナウイルス感染症予防チェックリストを作成して検温などの体調チェック、手指の消毒などを促すとともに、ボランティアの方に携帯用消毒剤を配布するなど安全対策を講じた。
- 令和2年度の宅配ボランティアの利用実績は、利用者22人、50回、227冊（令和元年度は、24人 226回、642冊）で、新型コロナウイルス感染症の影響もあり減少した。

	利用者数	回数	貸出冊数
職員による	17 (15)	231 (158)	1,179 (1,364)
ボランティアによる	22 (24)	50 (226)	227 (642)
合計	39 (39)	281 (384)	1,406 (2,006)

※カッコ内は令和元年度の数値

⑤ その他

- ・障害者サービス利用案内を放課後デイサービスや高齢者サービス事業所約50か所に発送してサービスのPRに努めた。1事業所から宅配サービスの申し込みがありサービスの提供を開始。4事業所からマルチメディアデジの貸出希望があり、近くの地域館から貸出を行った。
- ・眼科医院1か所に障害者サービス利用案内を置かせてもらい、院長先生より他にも何かあれば協力しますとのお言葉をいただいた。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・児童用障害者サービス利用案内を作成し、点字授業に訪問した小学校にて紹介した。
- ・児童向けに「障害を知る本」の展示を中央図書館で実施し、図書館ホームページ等でPRした。チラシをご覧になった八王子東特別支援学校の保護者の方と繋がる事が出来た。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・障害者サービスのさらなる周知。
- ・対象者のニーズにどの程度応えられているかの把握。

【改善策】

- ・障害福祉課にデータを提供してもらい、障害をお持ちの市民の方に直接日野市立図書館障害者サービス利用案内等を発送する。この作業を行うため個人情報保護審査会に申請を行う。
- ・利用者と対話して、サービスの感想を聞き出し、サービスの向上に努める。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	5 地域・行政資料のデジタル化事業
事業の概要	
<p>日野市のあゆみを伝える貴重な資料である地域・行政資料を将来に残すため、より多くの方に利用していただくために、デジタル化し図書館ホームページで広く公開する。</p> <p>利用要望が多くかつ紙の劣化が著しい昭和期の日野市刊行物のデジタル化に取り組む。</p> <p>公益財団法人図書館振興財団の2020年度振興助成事業助成金を活用し、資料をPDF化する。</p>	
事業の成果	
<ul style="list-style-type: none"> ・公益財団法人図書館振興財団の2020年度振興助成事業助成金を獲得し、事業経費として活用した。 ・6月に着手し、2月26日、529点の資料（120,569頁）のスキニング作業を完了した。 ・3月30日、図書館ホームページ (https://www.lib.city.hino.lg.jp)に「地域・行政デジタル資料」を掲載した。 ・公開が可能な資料を歴史、地方行政、財政、議会、産業、福祉、教育、文化行政、都市問題、自然の10のジャンルに分け、422点を掲載した。 <p>○主な掲載資料</p> <p style="padding-left: 2em;">日野町郷土記、七生村誌、日野市政白書、基本構想、市勢要覧、予算書、決算書、主要な施策の成果、決算審査意見書、情報公開制度に関する報告書、市税のあゆみ、市税概要、固定資産概要調書、町名地番変更対照表、市議会会議録、市議会だより、ひのしのこくほ、学校教育要覧、図書館業務報告、水道のあゆみ、日野市の下水道、土地区画整理事業しゅん功記念誌、日野市営住宅白書、緑のマスタープラン報告書、観光パンフレット等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で外出を控えなければならない状況下でも、デジタル化した資料を公開したことにより、来館しなくても全国どこにいてもいつでも閲覧できる「非来館型サービス」として、利便性が大きく向上した。 ・特に劣化が著しい昭和20年代から30年代の市刊行物は、原本を保存スペースに移管し、デジタル化資料を利用してもらうこととしたため、資料保存と利用を両立できるようになった。移管により書架に余裕ができたことで、資料を探しやすくなった。 	
事業の課題と改善策	
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業継続のための予算確保 ・市刊行物以外のデジタル化の検討 	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

【改善策】

- ・引き続き平成期の日野市刊行物のデジタル化と公開に取り組む
- ・庁内各課にあて資料の作成予定、会議録の作成等に関する調査を行い、資料の収集を行う。その際にデジタル化された資料はデジタルで収集する
- ・新規デジタル化データを可能なものから資料公開を開始する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

第3次日野市立図書館基本計画の取組

事業項目	1 地域の文化を創る拠点となる図書館をめざします
事業の概要	
<p>人と地域のつながり・文化を創る取り組みを行う。</p> <p>(1) 地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <p>(2) 市民に役立つ情報の提供</p> <p>(3) 市民の図書館活動・運営への参加</p> <p>(4) 地域で活動する団体との連携</p> <p>(5) 関係機関との連携</p>	
事業の成果	
<p>(1) 地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <p>■地域・行政資料の収集・提供・保存</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日野在住者が作成した著作物の寄贈や多摩平の森ふれあい館で活動しているサークルの会誌の寄贈により、地域資料の収集、提供を行うことができた(多摩平)。地域で活動する団体のパンフレットなどをファイルし、地域資料コーナーに設置(百草)。 ・既存の1階の市民著作コーナーに加えて、2階にも表紙を見せて配架するコーナーを新設した(日野)。レファレンス室でテーマ展示を9回行った。カウンター付近に展示したため、貸出返却の利用者のほかにキャレル利用者が手に取り閲覧する様子が見られた。展示図書186冊のうち43冊(23%)が貸出された。特に郷土資料館の資料をテーマに展示した時の貸出が多く、展示図書21冊のうち13冊(62%)が貸出された(中央)。 ・必要な資料が見つけやすくなるよう、古い資料の除架を定期的に行った(高幡)。市政図書室においても、バックヤードの予備の保存資料のうち不必要なものを破棄、百草図書館事務室内に保存している地域・行政資料の複本数を1冊に減らす、本庁2階書庫の保存資料のうち、日野市のデータが掲載されていない年報類については利用状況を確認の上減らすなど、資料の整理に努めた。 <p>■市政図書室の機能充実</p> <p>※「主要事業4 地域・行政資料のデジタル化事業」を参照</p> <p>(2) 市民に役立つ情報の提供</p> <p>■情報コーナーの設置</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

・各館で、チラシの配布の工夫を行った。中央館では、新型コロナウイルスの影響により中止や延期になるイベントが発生したが、インターネット等で情報を収集し、すみやかにポスター・チラシの修正、撤去を行ったため、最新の情報を提供することができた。また、1階地域情報コーナーにチラシラックを2台新設した。これまでの1.5倍程度の種類のチラシを、探しやすく設置できるようになった。高幡図書館では、パンフレットフォルダーの配置を変えることで、分散して見やすくなり、チラシの配布残が少なくなるという効果があった。日野図書館では、日野図書館周辺に関するチラシを優先的に配置。平山図書館では、平山季重ふれあい館で行われる催し物のチラシを目に留まるようにしたところ、イベント主催者から「チラシ配布の手ごたえを感じた」との反応があった。また、平山城址公園に散策に行く人の問い合わせが多いことから、東京都公園協会に、平山城址公園のパンフレット2種を送ってもらい、活用した。百草図書館では、新たなチラシラックを設置し、チラシ置き場を整理することで新刊棚を拡張することができた。また、地域の情報を発信するために1階ギャラリーに掲示ができることを、三沢中地区アクションプラン実行委員会でPRした。

■パスファインダーの作成と配布

・多摩平図書館で日野市多摩平の森産業連携センター「P l a n T」との連携に向けてパスファインダー「P l a n Tをご利用のみなさまへ -日野市立図書館ビジネス支援のご案内-」を作成した。市政図書室パスファインダーNO. 3「市政図書室で「通知・通達」を調べる」を作成し、図書館全館で配布した（令和3年3月）。今年度追加分の日野市立図書館ホームページ内にある日野市についてのよくある質問「秋間為子について」「姉妹都市レッドランズ市」を作成する過程において、これらについての市政図書室パスファインダーを作成する準備をした。日野図書館では、『新選組を読む・調べるために』令和2年版を100部作成するとともに、ホームページ版も更新し、多くの市民に情報発信できた。

(3) 市民の図書館活動・運営への参加

■日野ヤングスタッフの活動への支援

※「主要事業2-(4) 青少年へのサービス」を参照

■ボランティア活動への支援

※「主要事業4 障害者サービス」の宅配ボランティアを参照

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

(4) 地域で活動する団体との連携

■日野宿発見隊の活動支援

※「主要事業 2 第3次図書館基本計画推進事業」の日野図書館を参照

■本の魅力を発信する団体・サークルとの連携

毎年開催している子どもの読書に関するボランティア懇談会は新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。代わりにアンケートを実施した。詳細は「主要事業 3 第4次子ども読書活動推進計画推進事業(1)第4次子ども読書活動推進計画推進事業」を参照

■地域で活動する団体・サークルの活動支援

地域で活動する団体・サークルへの活動支援として、図書館の集会室を開放している。令和2年度の利用実績は次のとおり。

	利用回数 (カッコ内は前年実績)
集会室 (中央図書館)	320 (499)
読書会室 (高幡図書館)	211 (332)
談話室 (百草図書館)	162 (298)

■企業・商店等との連携

テーマ展示で、農のある百草地域関連資料の展示(百草)、「日野市の歴史と産業」テーマの展示(平山)を行なった。あわせて、「日野市の歴史と産業」の展示では、日野市の特産品のPRとして、TOYODA BEERのパフレットを配布した。

毎年開催されるまちゼミに、ブックリストを作成して協力。ゼミの内容にあう本を3~4冊紹介するブックリストを43種作成し、まちゼミの中で活用してもらった。また、地域館において、作成したブックリストと紹介した本を展示した。

(5) 関係機関との連携

■学校図書館との連携

※「主要事業2-(5)学校支援」を参照

■大学図書館との連携

- ・実践女子大学との交流を継続して行った。大学図書館との連絡会を開催(3月4日(水))。今年度は中央図書館で開催、双方の事業報告や今後の取り組みについての話し合いだけでなく、施設見学も行い、市立図書館の現状を見てもらうなどより深い交流ができた。
- ・実践女子大学学園祭「常磐祭」は、移動図書館ひまわり号の参加に向けて事前準備

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンライン開催となったため、当日は参加できなかった。

- ・実践女子大学図書館との「相互利用に関する協定」に基づき、都内公共図書館に所蔵が無い資料を借り受け、市民に提供することもできた。また、日野市民が市内大学図書館を利用することが可能であることを、ポスターの館内掲示や図書館ホームページ等で引き続きPRを行った。

■周辺施設との連携

- ・各地域館において、館周辺の施設と連携を図ってきた。

日野図書館：中央公民館の平和事業に協力し、「平和を考える本棚」と題して関連図書15冊を中央公民館に展示した。8月6日（木）～8月30日（日）。

ひの児童館主催の「親子でつくる手づくり絵本展」に協力し、「本をつくる」と題して関連図書13冊を展示した。1月22日（金）、23日（土）。会場は中央公民館。

多摩平図書館：感染対策をはかりながら、第三暁愛児園、多摩平幼稚園の園児の来館を受け入れ。たまだいら児童館（32冊）と子ども家庭支援センター多摩平（9冊）へ、児童書リサイクル本をそれぞれ提供した。

百草図書館：職員による選書で、駅前子育て応援施設モグモグに毎月20冊ずつ団体貸出を開始した。

※「主要事業 2 第3次図書館基本計画推進事業の百草図書館を参照」

■周辺地域との連携

「京王線沿線7市図書館連携」を行っており、八王子市、府中市、調布市、町田市、多摩市、稲城市と相互に市民が利用できるよう協定を結んでいる。また、令和元年度に立川市、国立市とも協定を結び、相互に市民が利用できるようになった。利用状況は次のとおり。

日野市民の他市図書館利用状況

	登録者数（人）	貸出冊数（冊）
八王子市	103（135）	8,376（12,940）
府中市	79（108）	3,801（7,679）
調布市	27（35）	957（1,183）
町田市	4（12）	76（295）
多摩市	106（189）	20,700（33,397）
稲城市	25（31）	3,147（3,550）

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

立川市	202 (506)	4,975 (5,546)
国立市	15 (29)	291 (295)
合計	561 (1,045)	42,323 (64,885)

他市市民の日野市立図書館利用状況

	登録者数 (人)	貸出冊数 (冊)
八王子市	265 (346)	43,125 (52,545)
府中市	17 (20)	860 (764)
調布市	9 (2)	19 (59)
町田市	10 (7)	744 (728)
多摩市	29 (46)	4,349 (5,319)
稲城市	5 (1)	184 (193)
立川市	29 (56)	643 (696)
国立市	23 (54)	466 (465)
合計	387 (532)	50,390 (60,769)

事業の課題と改善策

【課題】

- ・各地域館での取り組みの継続。
- ・地域との連携、特に市民の図書館活動や運営への参加。

【改善策】

- ・引き続き、各地域館の地域の状況に応じた資料の収集に取り組むとともに、地域資料の整理に努め、探しやすい書架づくりを行う。
- ・チラシ・ポスターを随時整理し、きれいに見やすく配置し、配布物は目に留まるようにし、欲しい方が得られるようにする。
- ・パスファインダーの作成に取り組む。具体的には次のとおり
 - 『新選組を読む・調べるために』の発行とホームページ版『新選組を読む・調べるために』の更新の持続。(日野図書館)
 - 多摩平団地、ビジネス支援につながるパスファインダー(多摩平図書館)
 - 「姉妹都市レッドランス市」「秋間為子について」と、今年度追加する予定のレファレンス事例集のパスファインダー(市政図書室)
 - 児童ホームページの「しらべようひの」を元にしたパスファインダー(百草図書館)
- ・改めて、ボランティアの図書館との関わりについて検討し、出来るところから実施について考える。また、ボランティア活動を支援している社会福祉協議会と相談、協議し、実施について検討していく。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・日野宿発見隊とともに地域の魅力を発信する取り組みを企画・実施する。(日野図書館)
- ・集会室等の定期利用について、例年は希望者全員を集め抽選会を行っていたが、利用者の利便性を考慮して、参集しない抽選方法に変更する。
- ・実践女子大学との交流を継続、推進するとともに、東京都立大学、明星大学との連携のあり方について検討する。
- ・企業・商店、周辺施設と引き続き連携を行う。具体的には次のとおり
中央公民館の呼びかけで地域の施設の職員が集う「ご近所会議」で月1回情報交換を行うなど、引き続き周辺施設との連携を行う。(日野図書館)
ビジネス支援を目的としたパスファインダーを作成し、日野市の産業連携センターである PlanT で配布する。パスファインダーを橋渡しとして、PlanT の利用者に図書館を活用してもらい、目標達成の支援をしていく。相互に出張おはなし会を行うなど、複合館内の子育て関連施設と連携を深める。近隣の保育園、幼稚園とも連携を深める。(多摩平図書館)
平山季重ふれあい館の構成部署との合同企画を実施。地域のイベントに合わせて関連資料の展示。(平山図書館)
子育てカフェモグモグとの連携、本の貸し出しなどを通じた情報交換を行う。
郷土資料館との連携展示を考える。(百草図書館)
- ・引き続き、まちゼミに、ブックリストを作成して協力する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	2 市民が気軽に立ち寄ることができる交流や憩いの場となります
事業の概要	
<p>本を通じて人と人とのつながりを創る取り組みを行う。</p> <p>(1) くつろげる「居場所」としての環境の充実</p> <p>(2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み</p> <p>(3) 移動図書館ひまわり号の活用</p>	
事業の成果	
<p>(1) くつろげる「居場所」としての環境の充実</p> <p>■設備の改善・充実</p> <p>中央図書館では、閲覧用椅子 20 脚をご寄付いただき新設できた。また、長年使用してきた集会室のテーブルを、軽くて扱いやすいものに交換した（11月）。</p> <p>日野図書館では、1階新聞・雑誌コーナーに椅子4脚を購入・設置した（3月）。設置した当日、利用者から「座り心地がよい」との声をいただいた。</p> <p>平山図書館では、現存する机、椅子、ブラインド等の定期点検を行い、ネジが外れてなくなっていたところがあったので補充し、締めなおした。換気装置、窓ガラス等の清掃を行なった。</p> <p>(2) 本を通じた出あい、交流の機会を創る取り組み</p> <p>■おすすめ本の紹介</p> <p>各館で、利用者がおすすめの本を紹介する取り組みを行ってきた。</p> <p>中央図書館：9月に「秋におすすめの本」を実施し、194人の参加があった。</p> <p>12月にクリスマスツリー型の板に星などの枠におすすめ本を書いて貼る「ツリーを飾ろう」を実施。80名が参加した。</p> <p>高幡図書館：7月展示で、風鈴を型取った用紙を置き、利用者「夏におすすめの本」を紹介してもらおうコーナーを設けた。用紙は11枚集まった。</p> <p>「プレたかはたブッククラブ」2月企画として、小学生におすすめ本のポップを募集し、それを児童室に掲示した。ポップは10枚集まった。また3月からは、ポップで紹介してもらった本も併せて展示した。</p> <p>日野図書館：8月に、夏休み企画「2020*なつ*《この本、おすすめです》」を実施した。記入用紙を設置し、おすすめ本を募ったところ25タイトル集まった。</p> <p>多摩平図書館：ヤング世代向けの展示は7月ごろから状況をみつつ実施した。7</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

月と10～11月に展示した本の半数以上は、前年度よりも多く貸し出されており、利用者が本を選ぶ参考になったと考える。

百草図書館：児童参加型のポスターを作り、1階ギャラリーに掲示した。星シールを貼ってもらう「百草図書館プラネタリウム」、好きなデザインの手袋を描いてもらう「てぶくろをさがせクイズ」、円に切った紙に好きなマークを貼ったり描いたりしてつくる「どんなかお?」、本の形に切った紙に本の題名を書いてしりとりをしてもらう掲示物など。

■各種イベントの拡充

新型コロナ禍の中感染症対策を十分に行い、以下のイベントを実施した。

- ・連続講座「はじまりの読書会」全5回連続講座

10月19日（月） お伽草子／太宰治

11月30日（月） 人間失格／太宰治

12月21日（月） 或る「小倉日記」伝／松本清張

1月18日（月） 張込み／松本清張

2月22日（月） 半生の記／松本清張

会場：高幡図書館 10名参加（14名が応募。抽選を実施）

- ・「言語を超えて旅してみよう」金原瑞人氏講演会

（中学生と作家の交流事業2020）

11月1日（日）於 多摩平の森ふれあい館

※「主要事業 3－（3）小中学生へのサービス」を参照

- ・図書館リサイクルフェア

2月13日（土）於 多摩平の森ふれあい館

※「主要事業 2 第3次図書館基本計画推進事業」の多摩平図書館を参照

- ・中央図書館耐震補強工事記念「島田潤一郎さん（夏葉社代表）のトークライブ」

2月13日（土）於 中央図書館

※「主要事業 2 第3次図書館基本計画推進事業」の中央図書館を参照

- ・令和2年度平和展「平和に向けて～ずっと平和が続きますように～」

3月4日（木）～3月7日（日）於 多摩平の森ふれあい館

東京都平和の日（3月10日）にあわせて東京空襲資料展と同時に開催された。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

主管は総務課。この企画の中で図書館は平和・戦争に関する図書の展示を行った。

(3) 移動図書館ひまわり号の活用

■移動図書館ひまわり号による「つながり」を創る取組

※「主要事業1 第3次図書館基本計画推進事業」を参照

事業の課題と改善策

【課題】

- ・おすすめ本を紹介する各館での取り組みの継続。
- ・イベントの実施。
- ・未利用者への働きかけの検討。

【改善策】

- ・設備については、随時点検し必要に応じて修理を行う。
- ・引き続き、おすすめ本の紹介を行う。具体的には以下のとおり。

『わたしを支えてくれた本』を教えてください」というアンケートを行い、おすすめ本と本にまつわるエピソードを募集し、展示する。(中央図書館)
幅広い世代の利用者が、気軽に本の感想を発信できるように、展示・掲示を工夫する。また、高幡図書館ヤングスタッフコーナーの掲示板に、利用者がおすすめ本のタイトル・感想を付箋に書いて貼るコーナーを、引き続き実施する。

(高幡図書館)

夏休みに実施するジュニアスタッフに、ポップの作成を呼びかけ、利用する同世代の利用者におすすめの本についての情報を発信してもらう。(日野図書館)
参加者の協力を得られる限り、夏休みジュニアスタッフや教員研修の方らによるおすすめ本のPOP展示を行う。また、来館した子どもたちのおすすめ本紹介コーナーの設置を検討する。(多摩平図書館)

児童室のおすすめ本のコーナーを再開する。書くコーナーは、コロナの感染状況をみて、その場で書けなくても、記入してきて、掲示してもらう形にする。

(平山図書館)

本の紹介を通して利用者同士が交流できるよう、児童室にて利用者参加型の展示を通年行う。また、昨年度から行っている企画で好評の、利用者の方や職員がおすすめの一文を抜き出して袋に入れて中身がわからないようにして貸し出す「図書館本X」を増やして展示する。(百草図書館)

- ・利用者同士が読書を通じて交流する場を作るため、市民の参加者を募集して読書会を開催する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	3 市民の読書活動を推進します
事業の概要	
<p>本と出あい、本と親しむ機会を創る取り組みを行う。</p> <p>(1) 本と出あうきっかけづくりの拡充</p> <p>(2) 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み</p>	
事業の成果	
<p>(1) 本と出あうきっかけづくりの拡充</p> <p>■ポップ、ポスター展示、図書館報「ひろば」等による本の紹介</p> <p>各館で、ジュニアスタッフや職場体験でおすすめ本の紹介とともにポップを作成してもらって展示を行っていたが、新型コロナウイルス感染症の影響でこうしたジュニアスタッフや職場体験の取組が行えなかったために、各館とも新たなポップの展示は行えなかった。高幡図書館では、「プレたかはたブッククラブ」の企画で、ポップの募集やおすすめ本を紹介するフローチャートを作成し、掲示した。</p> <p>館報「ひろば」を毎月発行（総発行部数 19,200 部）。図書館で行われる企画のPRや実施報告、移動図書館ひまわり号の巡回日程などの他に、利用者が本と出あうきっかけとなるように図書館員が蔵書を紹介する「図書館員の本箱」や「図書館に入った新しい本」を掲載した。「新しい本」のページを片手に、何冊もの本を予約していく利用者もみられる。</p> <p>「図書館員の本箱」は、館報「ひろば」とは別にホームページでも公開した。緊急事態宣言を受けて臨時休館としていた期間に 38 回、年末年始に 15 回公開した。年に 1 度程度の利用しかない書庫の資料を「図書館員の本箱」で紹介したところ、その直後に 5 件の予約が入ったものもあった。</p> <p>■テーマ展示の実施</p> <p>各館で毎月、テーマを決め資料の展示を実施した。テーマ展示の内容や展示している資料リストをホームページで公開している。各館で実施したテーマ展示は、以下の通り。</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

中央図書館（1階開架室）

4月	交通安全	10月	〔日野を知る〕豊田周辺の自然とまちのようす
5月	（臨時休館）	11月	【子育て支援・児童虐待防止】あなたひとりで考え込まないで
6月	【食育】	12月	空を飛ぶ
7月	【環境】	1月	夜明け
8月	【平和】生きている、生きていた	2月	健康法
9月	【世界自殺予防デー&自殺予防週間】空の本	3月	【自殺対策】心を守る

中央図書館（2階レファレンス室）

4月		10月	日野の川ー浅川・多摩川
5月	（臨時休館）	11月	東京を歩く
6月		12月	日野と新選組
7月	日野のむかし	1月	日野市の計画
8月	多摩の戦争	2月	日野市民の著作
9月	郷土資料館を見てみよう	3月	多摩の歴史

高幡図書館

4月	「小さな世界を覗く」／[ヤングミニ展示]実践女子POP展示	10月	〔日野を知る〕もっと知りたい動物園・水族館
5月	（臨時休館）	11月	「税を知る」
6月	【環境】「大切に扱う。修理する。無駄なく使いきる。」	12月	「映画化された作品」
7月	「夏の本」	1月	「ゆうゆうシニアライフ」
8月	【平和】「銃後の人々」	2月	「こんな時こそじっくり噺を～落語・噺家の世界～」まちゼミ展示
9月	【認知症】「認知症と生きる」	3月	【自殺対策】「なやみがあったら本に相談してみよう」

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

4月	2019 外国文学	10月	[日野を知る] 日野駅
5月	(臨時休館)	11月	【環境】環境関係図書近刊
6月	日記	12月	おおきいひとにおすすめの絵本
7月	島	1月	今尾恵介ワールド
8月	【平和】難民	2月	手紙
9月	【認知症】寄り添う	3月	東日本大震災

多摩平図書館

4月	団地を楽しむ ～暮らしの中の団地～	10月	[日野を知る] 多摩平団地～団地のある風景～
5月	(臨時休館)	11月	【子育て支援・児童虐待防止】
6月	梅雨 / [ヤングミニ展示]実践女子POP展示	12月	声を使わない コミュニケーション
7月	ふるさと	1月	本をつくる/まちゼミ展示
8月	【平和】世界の紛争・内乱～そこに生きる人々～	2月	光/まちゼミ展示
9月	【世界自殺予防デー&自殺予防週間】本とっしょ	3月	【環境】生きる世界のいま、未来を知る

平山図書館

4月		10月	[日野を知る] 市民の著作を紹介する 追悼 歴史学者 坂野潤治 氏
5月	(臨時休館)	11月	【子育て支援・児童虐待防止】
6月	感染対策 [ヤングミニ展示]実践女子POP展示	12月	【環境】クリスマス 正月を迎える
7月	暑い夏を涼しく過ごそう	1月	新年を迎えて 追悼 安野光雅 氏 追悼 半藤一利 氏
8月	【平和】考えよう！戦争と平和について ・追悼 外山滋比古 氏	2月	【子育て支援】
9月	日野の歴史と産業	3月	音楽を楽しむ

百草図書館

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

4月	春爛漫～植物にまつわる本～	10月	〔日野を知る〕百草周辺の農のある風景
5月	(臨時休館)	11月	テーマは図書館！
6月	空を眺める 【子育て支援】子育て十人十色	12月	憧れの家具
7月	夏を彩る光	1月	【環境】ともに暮らす～自然との素敵な関係～(環境)
8月	【平和】物語で知る平和と戦争	2月	まちゼミ展示 ／ストレッチ・体操
9月	【認知症】	3月	【自殺対策】心に寄り添う本、あります

季節や社会情勢等、市民の関心に応じたテーマのほかに、環境や福祉等、市役所内の関係部署と連携したテーマで実施することもあった。上表のうち【】で表示したものが連携したテーマで、連携先は次のとおり。

テーマ	連携課
【食育】	健康課
【環境】	環境保全課
【平和】	総務課
【世界自殺予防デー&自殺予防週間】 【自殺対策】	セーフティネットコールセンター
【子育て支援・児童虐待防止】	子ども家庭支援センター
【認知症】	高齢福祉課

(2) 子どもが本に親しむ機会を創り、拡大する取り組み

■第3次日野市子ども読書活動推進計画の推進

※「主要事業 2-(1) 第4次日野市子ども読書活動推進計画の推進」を参照

■子どもが利用しやすい環境整備

各館において、児童室において季節にあった本の展示や工夫した飾りつけを行うなど、子どもが楽しめる空間づくりに取り組んだ。

中央図書館

- ・季節に合った本の展示を約3か月ごとに入れ替えた。
- ・図書館発行のブックリスト掲載本を展示した。
- ・大型本用の書架を設置し、表紙を見せて本を置くことのできる書架を整理した。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

高幡図書館

- ・一般のテーマ展示にあわせたテーマ本を展示したほか、幼児向けの企画もおこなった。
- ・ミニブックトラックを活用し、不定期のミニ展示もおこなった。
- ・古くなった書架表示を更新した。
- ・絵本の表紙がみえるように置ける壁面スペースに定番絵本や隠れてしまっている絵本を並べ、子どもの目に留まるようにした。
- ・「プレたかはたブッククラブ」2月企画として、小学生に「おすすめ本のポップ」を募集し、それを児童室に掲示した。ポップは10枚集まった。また3月からは、ポップで紹介してもらった本も併せて展示した。さらに「プレたかはたブッククラブ」3月企画として、「小学生におすすめの本」を6冊紹介するフローチャートを作成し、貸出カウンターでポスター掲示・配布を行った。フローチャート用紙は約60枚配布した。

日野図書館

- ・夏休み企画「2020*なつ*《この本、おすすめです》」（8月）を実施した際に、夏らしいひまわりの折り紙をふんだんに貼り付けた壁面装飾を作成し、用紙を掲示した。

多摩平図書館

- ・9月に「図書館の本でやってみた」と題して、参考にした児童書4冊と作ったキャンドルを展示した。展示した4冊のうち3冊は前年度よりも多く貸し出され、外出自粛で家にいるときの楽しみになった可能性がある。図書館ホームページのこどもページにもアップして読書活動の普及・啓発に努めた。
- ・館内に掲示してある書架案内図のデザインを全面的に更新したところ、見やすくなったとの声が寄せられた。
- ・新型コロナウイルス感染症対策のお願いを書いたお知らせを、児童用にまちがいがし形式で作成・設置した。子どもに遊ばれているようである。
- ・読書パスポートのゴールに渡す景品の見本を10月ころから展示し始めた。
10月～3月のゴール件数を過去5年の同時期と比べると、令和2年度は1.43倍となっている。令和2年度は4月～5月に臨時休館していたが、年度のゴール件数は昨年度と同水準である。外出自粛による需要に加えて、景品の展示が読書

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

意欲につながっている可能性がある。

平山図書館

- ・児童室は季節に合わせて、折り紙の本から壁面装飾を変え、合わせて作り方の載っている本の展示をした。また、春であれば花や入学式のように、春夏秋冬それぞれの季節を表す内容の絵本を、面出しで展示するコーナーに展示して季節感を出すようにした。

百草図書館

- ・星のシールを貼ってもらうプラネタリウムポスター、好きな手袋の柄を書いてもらい、探すクイズを作ったポスター、好きな顔、好きな柄の卵などの絵をかいてもらい、関連資料を展示して来館した子どもたちに作ってもらったポスターを1階ギャラリーに掲示した。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・各館の地域性やニーズに合ったテーマ展示の継続。
- ・ホームページの利用による市民が本に出会うきっかけづくりの継続。

【改善策】

- ・図書館報「ひろば」では新しい本の紹介のほか、図書館員による本の紹介を掲載する。
- ・ホームページ等のインターネット環境を利用した本の紹介も充足させる。
- ・本と出あうきっかけづくりを拡充するために、各地域館で以下の取り組みを行う。

職場体験を受け入れる場合は、ポップを書いてもらい紹介本とともに展示する。(中央図書館)

利用者が新たな本に出あうことができる様、ポップ、ポスターの掲示を行う。ポップは、たかはたブッククラブの参加者(小学生)等に作成してもらい掲示する。(高幡図書館)

ノンフィクションの本について表紙が見えるように展示できるコーナーを常設し、本を手に取り易い環境を整える。(日野図書館)

学校訪問や学童クラブ訪問で紹介した本の展示を行う。ヤングコーナーのミニ展示スペースは更新を行い、本と出会う機会を継続して提供する。POPの展示については、夏休みジュニアスタッフや教員研修の方に協力を仰ぐほか、職

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

員による作成も検討する。(多摩平図書館)

利用者の本と出あうきっかけとなるポップ、ポスターの掲示を行う。ポップ、ポスターは、職場体験生や実習生、夏休みジュニアスタッフ等に作成してもらい掲示する。(平山図書館)

職場体験やジュニアスタッフの小中学生にポップ作成を依頼し、本と一緒に展示する。(百草図書館)

- ・テーマ展示については、新しい本との出あいの機会を拡充するため、季節や社会情勢等、利用者のニーズや各地域館の特長に応じて行う。また、市の取り組みを身近に感じて貰える様、他部署と連携した展示を引き続き推進する。さらに今年度は、テーマの設定について、日野市がSDG s 未来都市に選ばれたことに鑑み、SDG s 17 項目のうちのいずれか(あるいは複数項目)を当てはめたものを設定し、啓発に努める。
- ・子どもが利用しやすい環境とするため、児童室の展示を季節感のあるものに、また、利用者のニーズにあったものとする。また、図書館で作成したブックリスト等を、手に取りやすいよう工夫して設置する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	4 すべての市民に図書館サービスを提供します
事業の概要	
<p>知っている・使える図書館づくりを目指す取り組みを行う。</p> <p>(1) 図書館サービスのていねいな説明</p> <p>(2) 利用につながる図書館情報の発信</p> <p>(3) 移動図書館ひまわり号によるサービス</p> <p>(4) 多様な利用者へのサービスの拡充</p>	
事業の成果	
<p>(1) 図書館サービスのていねいな説明</p> <p>■図書館サービスのPR</p> <p>館報「ひろば」を12回、計19,200部発行した。図書館のサービス、イベント告知や報告、図書館に入った新しい本の紹介、図書館員が蔵書を紹介する「図書館員の本箱」、移動図書館ひまわり号の巡回日程などを掲載した。令和2年度は、図書館のサービスのうち、読書パスポート、障害者サービス、ナクソス・ミュージック・ライブラリー、本の順番予約を館報「ひろば」で紹介してきた。</p> <p>■利用案内の作成・配布</p> <p>利用案内は、地域館周辺の変化に応じた案内図の微修正などを行って常に最新の情報を掲載したものを発行してきた。利用案内は、日野市に転入手続きを行う際に、配布されている。</p> <p>(2) 利用につながる図書館情報の発信</p> <p>■様々な媒体を活用した広報・周知活動</p> <p>10月15日発行の広報ひので、「日野市立図書館の今・昔」というタイトルで図書館の紹介記事が掲載された。内容は、図書館が移動図書館からスタートしたこと、旭が丘地区センターを拠点とした移動図書館ひまわり号の地域づくりの取組、図書館ホームページの紹介。</p> <p>中学生と作家の交流集会「言語を超えて旅してみよう」金原瑞人氏講演会、中央図書館耐震補強工事記念・島田潤一郎さんのトークライブを実施するにあたって、プレスリリースを行った。</p> <p>(3) 移動図書館ひまわり号によるサービス</p> <p>■個人・団体貸出の実施</p> <p>21か所（令和元年度：21か所）のサービスポイントを巡回し、個人貸出を行っ</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

た。

年間利用者数 4,090 人 (4,111 人)

貸出冊数 24,685 冊 (23,981 冊)

延べ巡回回数 408 回 (473 回)

定期利用団体の巡回 (1 団体につき年 3 回) も行った。

定期利用団体数 53 団体 (保育園、学童クラブ、病院)
(令和元年度 53 団体)

貸出冊数 21,246 冊 (令和元年度 23,200 冊)

延べ巡回回数 144 回 (169 回)

※カッコ内は令和元年度の数値

■運営方法の検討

「石田地区公共施設」(石田環境プラザ) への巡回を令和 3 年度に開始するにあたって、巡回場所の見直しを行い、利用者数等を勘案して、令和 3 年度から小構コーポ佐野前(日野台 1-3-7)の巡回を休止することとした。

※「石田地区公共施設」(石田環境プラザ) への巡回については、「主要事業 2 第 3 次図書館基本計画推進事業」の移動図書館ひまわり号を参照

■新システム導入によるサービスの拡充

- ・長時間駐車する幾つかのサービスポイントでノートパソコンを常備し、資料検索、利用者検索など一部の作業に使用した。リアルタイムでより正確な情報を利用者に提供することができた。
- ・幾つかの団体貸出時にノートパソコンを常備させて通信状況の検証を行い、団体貸出巡回におけるノートパソコンの活用方法の今後の検討材料になった。

(4) 多様な利用者へのサービスの拡充

■図書館の利用に障害がある方へのサービス

※「主要事業 3 障害者サービス」を参照

※「第 3 次日野市立図書館基本計画の取組 1-(3) 市民の図書館活動・運営への参加」を参照

■高齢者へのサービス

高齢者などの弱視者向けの大活字本を、全館で 62 タイトル、計 189 冊新たに受入した。また、地域館間で融通しあって、大活字本を全館で充実させた。高幡図書館では、「ゆうゆうシニアライフ」というテーマ展示を実施。誰もが迎えるシニアライフを、楽しく暮らせるための様々な知恵やヒントとなる資料を多種の分野にわ

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

たって展示した。期間中、82冊の展示した資料はすべて、最低一回は貸出された。

■外国人へのサービス

外国語の本を全館で67冊購入した。内訳は英語の本が55冊、中国語・韓国語が12冊で、これら本は合計で181回貸出された。また、日野図書館と多摩平図書館では、外国人が日本語を学習するための本を購入した。平山図書館では、国際交流協会から、「日本語が不自由な外国人の方に翻訳して伝えたいので、地震や火災時の対応マニュアルを見せて欲しい」との依頼を受け、提供した。必要とする情報・資料の参考となった。あわせて、必要な資料の要望を聞き取った。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・図書館サービスを知らない市民がいることも事実である。この便利な仕組みをどうやって伝えていくか？図書館単独の取り組みだけでなく、生涯学習活動全体を巻き込んで、個人や団体に対しても広報する必要がある。

【改善策】

- ・館報「ひろば」、図書館ホームページを中心に図書館情報を周知していく。特にインターネットを通じた情報発信については強化していく。
- ・利用案内については、常に最新情報に更新して発行する。転入者への配布も継続する。
- ・パスワード、メールアドレスの登録を促進し、ホームページの活用を促す。
- ・広報ひの等を活用した図書館の紹介、イベント等のプレスリリースを継続する。
- ・高齢者向けには、大活字本や大人向けの紙芝居等の資料を充実させる。また、医療や、スマートホン、キャッシュレスなど高齢者の生活に役立つ資料の充実も図る。それによって高齢者の図書館への満足度を高め、来館者数、貸出冊数の増加を目指す。また、多摩平図書館においては、最新の医療情報が得られるよう、資料の更新を図るとともに、最新のスマートホンやキャッシュレスなどの高齢者の生活に役立つ最先端技術に関する本を充実させる。平山図書館においては闘病記・がん情報・認知症に関する資料の収集・提供を推進する。
- ・外国人向けには、日本語を母国語としない、または日本語を読むことが困難な方への学習用資料の購入を進める。どのような資料を必要とされているかを引き続き把握するよう努める。また、外国語資料を外国人用としてではなく、児童向けや学習者向けに充実することも検討してみる。百草図書館では、英文併記の絵本のコーナーの設置を検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	5 現在および未来の市民が求める資料・情報を収集・提供・保存します
事業の概要	
<p>図書館サービスの基本として次の取組を行う。</p> <p>(1) 資料・情報の収集</p> <p>(2) 資料の保存、除籍</p> <p>(3) 資料・情報の提供体制の充実</p> <p>(4) 読書案内・レファレンスサービスの充実</p>	
事業の成果	
<p>(1) 資料・情報の収集</p> <p>■蔵書の充実</p> <p>日野市立図書館資料収集方針第9条に定める資料別選定基準として、「日野市立図書館資料選定基準」を制定し、8月より実施、ホームページ上で公開した。日野市の選定基準の特徴的なところは、①問題集・参考書、マンガ資料、ゲーム攻略本は原則収集対象としないこと ②分類は「日本十進分類法（第7版）に基づくことを原則としつつ、例外的に文庫本はアルファベットのB、家庭生活の実用書はアルファベットのTを用いた分類としていること ③日野市に関する資料は積極的に収集していくこと 等である。</p> <p>令和2年度に受け入れた冊数は、33,380冊（令和元年度：34,694冊）</p> <p>■オンラインデータベースの充実</p> <p>図書館では、新聞、法規判例、官報情報、音楽配信のオンラインデータベースが利用できる。令和2年度の利用回数は次の通り</p> <p>新聞（ヨミダス歴史館、聞蔵Ⅱビジュアル、日経テレコン21、毎索） ・・・205回（222回）</p> <p>法規判例（D1-Law、TKCローライブラリー）・・・44回（52回）</p> <p>官報情報・・・52回（36回）</p> <p>国立国会図書館デジタルコレクション・歴史的音源・・・・・・70回（63回）</p> <p>音楽配信（ナクソス・ミュージック・ライブラリー）・・・2,435回（2,090回） ID配布数 191（186）</p> <p>※カッコ内は令和元年度の数値</p> <p>■電子書籍の検討</p> <p>3月から都立図書館が契約している電子書籍閲覧サイト「東京都立図書館 TRC-DL」を館内で閲覧できるようになった。閲覧可能なコンテンツは、小説（文庫）、旅行ガイド、資格試験テキスト、問題集、辞典類等、約7,300点。</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

(2) 資料の保存、除籍

■資料の保存、除籍

- ・書架整理を行い、書架スペースに適合するよう資料の除架を行い、利用しやすい書架とした。(年間除籍冊数 30,223 冊)
- ・市関係部署にリサイクル雑誌を頒布する旨を周知し、希望があった部署に頒布し、除籍資料の有効活用を推進した(小学校・児童館等)。

配布数

配布先	施設数等	配付数(冊)
児童施設	8 (27)	437 (412)
小中学校	18 (12)	801 (762)
市他部署	5 (1)	349 (1)
その他	1 (53)	30 (53)
合計	32 (41)	1,617 (1,228)

※カッコ内数字は前年の実績

- ・各館で市民向けに毎月10日・20日・30日にリサイクル資料を市民に頒布し、除籍資料を市民に活用してもらうことができた。また、多摩平の森ふれあい館で2月に「図書館リサイクルフェア」を開催し、リサイクル資料の頒布を行った。

配布数

	配付数(冊)
市民向け配布	19,404 (23,642)
図書館リサイクルフェア	2,761 (3,446)
合計	22,165 (28,336)

※カッコ内数字は前年の実績

(3) 資料・情報の提供体制の充実

■ニーズにすばやく対応できる貸出体制の充実

8月に制定した「日野市立図書館資料選定基準」で、「予約数・利用状況に応じた冊数を収集し」と定め、全館で上限21冊まで購入できることとした。また、取り置き期限(予約割当後、または連絡後2週間)を遵守することで、資料が用意できるまでの時間短縮を図った。

日野市立図書館で所蔵していない資料については、リクエストに応じて購入、または他図書館から借用した。令和2年度のリクエストの実績は次のとおりである。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

リクエストで提供した冊数		493,964 (501,721)
蔵書・購入で提供した冊数		486,207 (493,964)
他図書館からの借用冊数		7,757 (9,525)
借用先の内訳	都立図書館	2,950 (3,647)
	都内他市図書館	4,107 (5,034)
	都内他区図書館	536 (570)
	都外等	100 (211)
	国会図書館	64 (63)

※カッコ内数字は前年の実績

(4) 読書案内・レファレンスサービスの充実

■読書案内・レファレンスサービスのPR

「レファレンス室だより(第17回)」を図書館報「ひろば」2021年2月号に掲載し、レファレンス室に新しく入れた資料を紹介し、レファレンスのPRを行った。また、毎月テーマ展示を中央館のレファレンス室のカウンターで行い、資料を紹介した。展示した資料のうち平均23%が貸し出された。

■レファレンス資料の充実

新聞の地方版を収録したマイクロフィルムは、平成31年1月～令和元年12月分までの朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞の各紙、平成30年1月～12月の東京新聞を購入した。

レファレンス資料のうち、終刊した逐次刊行物を調査した。その中で相当年度経過した利用頻度の低い資料を除籍または書庫に移管した。書庫の本の配置を変えて新たに棚の空きスペースを作り、古い新聞縮刷版を書庫に移管した。

■子どもの調べる力の向上

※主要事業2-5「学校への支援」を参照

事業の課題と改善策

【課題】

- ・資料選定基準の定期的な見直し。
- ・オンラインデータベースのPR。

【改善策】

- ・資料選定基準に基づいて資料を選定し、引き続き蔵書を充実させる。基準については、出版内容の変化等を見極めた上で、見直しを検討する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

- ・オンラインデータベース利用促進をめざし、図書館ホームページ等でオンラインデータベースについて紹介し、サービスをPRする。
- ・新型コロナウイルス感染症への対応として、令和2年度は電子書籍貸出サービスを導入した自治体が増えた。これら新規導入自治体の事例を中心に、電子書籍の長所・短所を調査し、公共図書館における電子書籍の有用性について検討する。また、新しい生活様式におけるマルチメディアデイジー図書の活用方法について検討する。
※マルチメディアデイジー：視覚に障害のある方はもちろん、加齢などにより文字が見えにくい方、発達障害のある方など活字による読書が困難な方に対し、文字や音声、画像を同時に再生できるデジタル録音図書のこと
- ・除籍基準については、改めて他市等の状況も踏まえ、逐次見直していく。
- ・資料の保存、除籍については、運営管理の標準化・簡素化等を検討し、できるところから実施していく。
- ・他の自治体図書館等から借用する資料を速やかに提供できるよう、借用依頼の方法を検討する。また、予約資料を確実に速やかに提供できるよう、窓口や電話で予約を受け付けた場合のマニュアルを作成し、研修を行う。
- ・レファレンスサービスの利用を広めるため、「レファレンス室だより」を図書館報「ひろば」に年1回掲載する。また、図書館ホームページの「日野市についてよくある質問（レファレンス事例集）」を追加・更新する。
- ・調べものの際に特定のテーマに関する資料を探すための手引きを作成し、図書館ホームページ等で紹介する。

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

事業項目	6 サービスを提供する基盤を整備します
事業の概要	
<p>(1) 施設の保持・保全</p> <p>(2) ICT化の推進</p> <p>(3) 職員の育成</p> <p>(4) 市民とともにすすめる図書館運営の推進</p>	
事業の成果	
<p>(1) 施設の保持・保全</p> <p>各館の施設・設備の老朽化に対応するため、令和2年度は以下の修繕を行った。</p> <p>中央図書館</p> <p>2階男子トイレ排水管修繕（トイレの排水管の水漏れ）</p> <p>UPS内蔵バッテリー交換</p> <p style="padding-left: 2em;">（図書貸出管理システムの無停電電源装置のバッテリー交換）</p> <p>パーチカルブラインド修繕（児童室窓に設置しているブラインド修繕）</p> <p>外灯修繕（中庭、外周、地下の外灯3か所の修繕と塗装）</p> <p>事務室照明修繕（事務室の照明器具の不具合修繕）</p> <p>受変電設備コンデンサー交換及びPCB濃度分析業務委託</p> <p style="padding-left: 2em;">（受変電設備のコンデンサーに含まれるPCBの濃度を分析し、適切に処分したものの）</p> <p>昇降機部品交換修繕（エレベーターの照明、部品の交換）</p> <p>消防用設備修繕（故障していた煙感知器の交換と非常灯修繕）</p> <p>高幡図書館</p> <p>1階だれでもトイレ換気扇交換修繕</p> <p>1階女子トイレ鍵修繕</p> <p>地下駐車場照明修繕</p> <p>冷温水配管漏水修繕（12月に冷温水配管に漏水が発生し、冷暖房装置が使用できなくなったものを修繕）</p> <p>冷風機配管修繕（児童室の冷風機の排水管の修繕）</p> <p>漏水対策修繕（1階開架室での雨漏り対策の修繕）</p> <p>樹木剪定修繕</p> <p>日野図書館</p> <p>引き戸等修繕（駐車場側出入口引き戸器具の交換）</p>	

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

駐車場ライン消し修繕

平山図書館（平山季重ふれあい館）

1階男子トイレ温水洗浄便座修繕

受変電設備内補償用電池交換修繕（停電時に稼働するバッテリーの交換）

昇降機部品交換修繕（信号入出力基板が故障し、エレベーターが正常に停止しなくなったための修繕）

駐車場修繕（砂利を部分的に加えて慣らす修繕）

百草図書館

昇降機部品交換修繕（耐用年数が過ぎた部品の交換）

非常押ボタン設置修繕（カウンター、事務室に不審者対策用の非常押ボタンを設置）

窓修繕（窓開閉固定用金具の調整）

（2）ICT化の推進

日野市情報セキュリティ対策基準が改訂されたことに伴い、図書館のセキュリティ対策基準の改訂を行った（令和3年4月1日から適用）。情報セキュリティの運用状況や研修・教育は、この対策基準をもとに実施する。

（3）職員の育成

2月15日（月）に正職を対象に研修を実施。中央図書館1階フロアで、ひの手話サークル、日野市聴覚障害者連盟より3名の講師を招き、図書館窓口でよく使用するフレーズの手話を中心に手話を教わった。手話を学ぶことを通じて、聴覚障害者への理解を深めた。受講した職員数は19名。

以下の外部研修を受講した。

図書館等職員著作権講習（文化庁主催 9月17日（木）～18日（金）1名）

レファレンス研修「美術情報」（都立中央図書館 10月1日（木）1名）

図書館科専門研修

（東京都市町村職員研修所 11月4日（水）～6日（金）3名）

資料保全研修（都立中央図書館 11月19日（木）1名）

障害者サービス研修（都立多摩図書館 12月10日（木）1名）

日野市立図書館の運営状況に関する評価表

(4) 市民とともにすすめる図書館運営の推進

■図書館運営の点検・評価

図書館運営状況について、図書館協議会での報告評価を経て、9月に教育委員会に報告し、図書館ホームページで公表した。

■図書館の運営方法の検討

緊急事態宣言を受けて、4月9日から6月1日まで臨時休館していたが、開館後の6月13日から30日までの間、「本や読書」、または「図書館」への思いを聞ける機会と判断し、読書調査を実施した。実施方法は来館者にアンケートを配布・回収したほか、ホームページからも回答を寄せることができるようにした。回収したアンケート数は、約2,600であった。臨時休館が早く終わることを願っていたという意見や、図書館が好きで日頃から利用しているなど、図書館への期待が多く書かれていた。令和2年度中に集計結果を出せなかったが、令和3年度に公表できるよう作業を進めている。

事業の課題と改善策

【課題】

- ・老朽化した施設の修繕、中央図書館のリニューアル。
- ・研修の充実と積極的な専門研修の受講。
- ・読書調査のまとめと公表。

【改善策】

- ・近年、高幡図書館、中央図書館の設備等老朽化が著しい。令和3年度は施設保持、快適に利用できる環境保持のために、次の修繕を実施しなければならない。
 - 高幡図書館空調配管修繕
 - 高幡図書館雨水槽部品交換修繕
 - 中央図書館分電盤修繕この他にも必要に応じて修繕を行う。
- ・図書館のセキュリティ対策基準の改訂を行う。・情報セキュリティの運用状況や研修・教育は、この対策基準をもとに実施する。
- ・これまで継続して派遣していた研修は、引き続き対応していく。また、これまで実施してきた館内研修を体系化し、研修計画(案)としてまとめ、実施していく。
- ・令和2年度に実施した読書調査を集計し、公表する。

統計資料

1. 奉仕実績

(1) 蔵書状況(蔵書数)

① 図書

区 分	蔵書数 (冊)	年間受入 (冊)	年間除籍 (冊)
一般図書	661,667	24,109	21,558
児童図書	185,205	9,271	8,665
計	846,872	33,380	30,223

② CD・ビデオ等

資料名	保有数
CD	4,422
カセットテープ	14
DVD	299
ビデオソフト	354
レコード等	13
計	5,102

③ 雑誌・新聞

	購読新聞	雑 誌		
		購入	寄贈	合計
中央図書館	18	217	39	256
高幡図書館	10	120	6	126
日野図書館	7	96	4	100
多摩平図書館	10	163	6	169
平山図書館	7	84	6	90
市政図書室	14	69	46	115
百草図書館	8	109	3	112
移動図書館	0	40	0	40

(2) 利用者数・貸出点数

① 利用登録者数

成人 (人)	児童 (人)	登録者総数 (人)	登録率 (%)
24,901	3,440	28,341	15.15

※登録者数：年度内に貸出した人数

登録率：登録者数を令和3年4月1日の人口187,048人で除して算出

統計資料

② 延べ利用者数、開館日数

館名	延べ利用者(人)	開館日数(日)
中央図書館	57,750	265
高幡図書館	72,042	265
日野図書館	47,935	265
多摩平図書館	107,372	265
平山図書館	36,732	265
市政図書室	4,205	252
百草図書館	29,124	265
移動図書館	4,480	—
計	359,640	—

※4月9日(水)～5月31日(日)臨時休館

③ 個人貸出点数

区分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	158,386	80,332	824	239,542
高幡図書館	175,007	68,605	671	244,283
日野図書館	123,802	72,457	435	196,694
多摩平図書館	258,659	142,779	5,671	407,109
平山図書館	87,910	33,167	232	121,309
市政図書室	10,037	1,770	48	11,855
百草図書館	67,562	26,670	2,771	97,003
移動図書館	14,042	10,592	101	24,735
計	895,405	436,372	10,753	1,342,530

④ 移動図書館・駐車場別貸出点数

駐車場名	貸出点数	駐車場名	貸出点数	駐車場名	貸出点数
シティハイツ日野旭が丘	3,691	新井わかたけ公園	1,321	貉谷戸公園	678
西平山第1公園	1,146	さいかちぜき公園	607	万願寺中央公園	860
緑ヶ丘公園	812	大坂西公園	799	ちょうまんびら公園	701
市営向川原団地	1,219	新坂下公園	839	七ツ塚公園	1,124
百草団地アポロ広場	1,242	都営日野栄町二丁目アパート	174	旭が丘地区センター ※ 1	4,668
水車公園	1,615	松風公園	678	〈注〉その他、団体貸出やイベント等での個人貸出冊数が合計50冊	
ほほえみ公園	661	南平丘陵公園	843		
小構コーポ佐野前	411	万願寺渡西公園	596	貸出総冊数	24,735

以下の数値は貸出総冊数から〈注〉分を差し引いた数値で算出した。

駐車場数	21カ所	延べ巡回回数	408回	一駐車場平均貸出冊数	1178.8冊
年間利用者数	4,090人	一駐車場平均巡回回数	19.4回	一駐車場一巡回当たり	
貸出冊数	24,685冊	平均利用者数	10.0人	平均貸出冊数	60.6冊

⑤ 団体貸出点数

区 分	一般図書	児童図書	CD・ビデオ	計
中央図書館	89	631	5	725
高幡図書館	73	929	0	1,002
日野図書館	51	409	0	460
多摩平図書館	32	2,073	0	2,105
平山図書館	40	580	0	620
市政図書室	0	0	0	0
百草図書館	16	930	0	946
移動図書館	1,831	19,415	0	21,246
計	2,132	24,967	5	27,104

※移動図書館は延べ169回巡回し、定期利用団体が53団体、その他団体1団体が利用

⑥ 図書館連携事業

日野市民の他市図書館利用	市 名	新規登録者	貸出冊数
	八王子市	103人	8,376冊
	府中市	79人	3,801冊
	調布市	27人	957冊
	町田市	4人	76冊
	多摩市	106人	20,700冊
	稲城市	27人	3,147冊
	立川市	202人	4,975冊
	国立市	15人	291冊
	合 計	563人	42,323冊
他市市民の日野市立図書館利用	市 名	新規登録者	貸出冊数
	八王子市	265人	43,125冊
	府中市	17人	860冊
	調布市	9人	19冊
	町田市	10人	744冊
	多摩市	29人	4,349冊
	稲城市	5人	184冊
	立川市	29人	643冊
	国立市	23人	466冊
	合 計	387人	50,390冊

(3) リクエストサービス(処理件数)

	図書			雑誌			視聴覚	合計
	所蔵	借用	小計	所蔵	借用	小計	所蔵	
中央図書館	11,764	996	12,760	1,330	101	1,431	135	14,326
高幡図書館	15,379	1,899	17,278	586	177	763	46	18,087
日野図書館	7,205	750	7,955	681	178	859	40	8,854
多摩平図書館	13,225	1,795	15,020	628	77	705	73	15,798
平山図書館	5,573	780	6,353	885	25	910	24	7,287
市政図書室	784	113	897	24	23	47	6	950
百草図書館	5,887	729	6,616	269	18	287	126	7,029
移動図書館	1,379	93	1,472	64	3	67	1	1,540
OPAC全館	18,364		18,364	1,910		1,910	226	20,500
WEB(注1)	363,907		363,907	32,705		32,705	2,981	399,593
合計	443,467	7,155	450,622	39,082	602	39,684	3,658	493,964
上記受付数中、 電子申請(注2)による受付数			2,105					2,105

注1) 図書館のホームページを使ったリクエスト

注2) 東京都及び市区町村が共同で組織する東京電子自治体共同サービスを使った電子申請によるリクエスト

(4) 参考調査

① レファレンスサービス(文献調査)

区分	日野市 関係	多摩・東京 関係	地方行政 関係	一般 主題	計
中央図書館	205	330		423	958
高幡図書館	4	1		135	140
日野図書館	27	5		180	212
多摩平図書館	26	6		231	263
平山図書館	9	7		115	131
市政図書室	486	77	108	90	761
百草図書館	33	4		253	290
計	790	430	108	1,427	2,755

※地方行政関係は、市政図書室のみでカウント。他の館では一般主題と一緒にカウントしている。

② コピーサービス

館名	カラー枚数(枚)	白黒枚数(枚)	調定済金額(円)
中央図書館	1,054	20,124	243,400
高幡図書館	600	16,973	193,730
日野図書館	654	8,311	109,270
多摩平図書館	919	7,130	108,060
平山図書館	649	9,542	121,380
市政図書室	217	5,170	60,380
百草図書館	202	5,984	67,920
計	4,295	73,234	904,140

(5) 児童・青少年サービス

① おはなし会

(定例おはなし会)

会場	開催日	回数	参加人数				
			0才〜	3才〜	小学生	小計	大人
中央図書館	毎月第4木曜日	4	6	—	—	6	7
	毎月第2水曜日	3	—	6	—	6	4
高幡図書館	毎月第1水曜日	3	6	2	—	8	7
日野図書館	毎月第3水曜日	3	—	—	9	9	7
多摩平図書館	毎月第2木曜日	3	13	—	—	13	13
	毎月第4水曜日	4	—	13	—	13	9
平山図書館	毎月第3木曜日	2	4	—	—	4	4
百草図書館	毎月第4金曜日	3	6	3	—	9	7

※おはなし会の開始時間

0～2歳児

午前10時30分～(中央、多摩平、平山)、午後3時～(高幡、百草)

3歳～

午後3時30分～(中央、高幡、多摩平、百草)

3歳～6歳

午後4時～(日野)

(出張おはなし会)

訪問先	合計回数
1施設(子育てひろば)	5回

② 「プレたかはたブッククラブ」

小学生対象、予約定員制。職員による本の紹介や図書館探検など子どもと本とを結びつける事業

開催月日	会場	参加者数 (人)
10月7日 (水)	高幡図書館	5
11月4日 (水)	高幡図書館	5
合計		10

③ 「子ども読書の日」関連事業 (おはなしピクニック)

行 事 内 容	備考
イベント 「としょかんおはなしピクニック 2020」	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

④ 保護者向け本の紹介

行 事 内 容	備考
学校等で読み聞かせをする予定のある保護者に季節にあった本や新刊書の紹介	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

⑤ 読み聞かせ入門講座

行 事 内 容	備考
集団に対する読み聞かせの仕方、本の選び方、参考図書の紹介、実習	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

⑥ 学校訪問

毎年、図書館職員が市内小学校の3年生のクラスを訪問し、市立図書館の利用案内・本の紹介・絵本のよみきかせ・昔話の語り等を行っている。

月・日	学校名	月・日	学校名
7月9日 (木)	日野第四小学校	7月14日 (火)	夢が丘小学校
7月31日 (水)	東光寺小学校	9月4日 (金)	潤徳小学校
3月12日 (金)	日野第一小学校	3月19日 (金)	旭が丘小学校

⑦ 学校へ貸出・搬送(学校搬送便)

市内小中学校からの要望に応じて、授業内容に沿った資料や読書指導に必要な図書を貸し出し、搬送している。

搬送回数 (のべ)	貸出冊数
のべ108回	4,357冊

- ⑧ 「本の森」学級文庫配本
子ども読書推進のため、小学校全学年へ読み物を中心とした図書セットを配本している。

回数	貸出冊数
のべ51回	16,664冊

- ⑨ 中学生の職場体験学習

行事名	備考
職場体験	新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず

- ⑩ ジュニア・スタッフ(中学生)
毎年、夏休みに図書館の仕事を体験するジュニア・スタッフ事業を行っているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため実施せず。

- ⑪ 来館（施設見学、ボランティア活動、おはなし会、等）

行事名	開催日	実施館	
小・中学校	随時	高幡・日野・平山・百草	8校

- ⑫ 健康課主催ママパパクラスにて図書館案内と関連図書紹介
新型コロナ感染症対策のため実施せず

- ⑬ ボランティア懇談会
年2回、市内で活動する子どもの本に関わる団体相互と図書館とが情報交換を行うが、今年度は新型コロナ感染症対策のため開催せず。

⑭ 青少年読書活動事業 「ヤングスタッフ事業」

青少年が自ら企画・立案し、イベントの開催、推薦図書リストの作成等を行った。
公募により、市内在住・在学の大学生・高校生が参加。

行 事 名	開催月日	備考
大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」POP 展示	4月1日(水)～ 4月8日(水) 6月1日(火)～ 7月31日(金)	実践女子大学常磐祭にて大学図書館で展示されたPOPを、紹介された資料とともに展示した。高幡図書館、多摩平図書館、平山図書館の順に、1か月おきに巡回展示する予定だったが、新型コロナウイルス感染症による臨時休館があったため、展示時期を1か月ずらして実施した。
大学連携事業 「実践女子大学図書館学生スタッフ企画」リレーブックトーク	8月12日(水)	実践女子大学図書館学生スタッフ主催の企画「リレーブックトーク」にヤングスタッフから1名参加した。動画は学内限定で公開された。 (参加者：大学図書館学生スタッフ6名、ヤングスタッフ1名)
大学連携事業 「実践女子大学常磐祭」ビブリオバトル	-	新型コロナウイルス感染症の影響で、常磐祭は大学関係者のみのオンライン開催となったため、ヤングスタッフの参加は中止となった。
Web 会議	7月19日(日) 8月30日(日) 10月11日(日) 12月13日(日) 2月7日(日) 3月21日(日)	新型コロナウイルス感染症対策のため、Web会議を中心に活動を行った。会議は臨時休館期間明けから再開し、実施回数は6回であった。

⑮ 中学生と作家の交流事業

中学生が本に親しみ、自ら読書の楽しさを発信する活動を支援。

開催日	会 場	講 師	参加者(人)
11月1日(日)	多摩平の森ふれあい館 (集会室6)	金原瑞人氏	42人

(6) 障害者サービス

① 利用者、音訳点訳登録者、点字図書、拡大写本、対面朗読数

利用者数		音訳者	点訳者	点字図書			拡大写本		対面朗読		
個人	団体			作成枚数	貸出		作成枚数	貸出タイトル数	件数	のべ時間	のべ音訳者数
					タイトル数	巻数					
214	14	36	14	7,754	396	568	0	0	118	293	217

統計資料

② 録音図書の作成・貸出数

作成						貸出					
テープ図書		DAISY 図書		合計		テープ図書		DAISY 図書		合計	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	48	48	48	48	43	208	3,565	3,565	3,608	3,773

③ 相互貸借の貸出・借用数

貸出						借用					
テープ図書		DAISY 図書		点字図書		テープ図書		DAISY 図書		点字図書	
タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数	タイトル数	巻数
0	0	8,078	8,078	4,985	5,000	37	195	1,291	1,291	109	274

③ 宅配による貸出数

利用者数 (人)	回数 (回)	貸出図書冊数 (冊)
39	281	1,406

⑤ 講習会開催数

講習名	講師	開催回数	開催場所	受講者 (人)
音訳者講習会 (中級)	成毛 由紀子氏	3回	多摩平の森ふれあい館	14

⑥ 出張点字授業

点字や視覚障害者の理解を深めるため、市内小学校4年生を訪問している。

訪問日	学校名	クラス数
9月15日 (火) 17日 (木)	日野第五小学校	3
9月29日 (火)	夢が丘小学校	2
10月30日 (金)	東光寺小学校	2
1月26日 (水) 27日 (木)	潤徳小学校	4
2月2日 (火) 5日 (金)	日野第四小学校	4
2月9日 (火)	七生緑小学校	2
2月16日 (火) 19日 (金)	南平小学校	3
合計	7校	20

6 刊行資料

資料名 (1回当りの発行部数)	発行回 (回)	発行部数
館報「ひろば」	12	19,200
新聞記事速報 (1回あたり230部)	242	55,660
資料の広場 (1回あたり180部)	6	1,080

統計資料

7 視聴覚ライブラリー

(1) 視聴覚機材、16ミリフィルム保有数及び貸出数

資料・機材名	保有数	貸出数
16ミリ映写機	1	0
8ミリ映写機	1	0
スライド映写機	1	0
スクリーン	8	0
暗幕	19	4
16ミリフィルム	60	0

(2) 16ミリ映写機検定

項目	開催日	検定台数	会場
16ミリ映写機検定	9月14日(月)	4台	中央図書館

8 インターネットサービス

- (1) ホームページアクセス件数 1,028,968件
- (2) パスワード発行数 2,094件
- (3) メールアドレス登録者数 (累計) 19,808人
- (4) インターネット検索パソコン利用回数

インターネットの情報を図書館でも検索できるように、各館にインターネット端末を設置している。

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
387	461	469	304	993	322	113	366	3,415

(5) 持込PC用電源利用受付数

中央	レファレンス	高幡	日野	多摩平	平山	市政	百草	合計
-	225	13	55	234	-	-	27	554

9 テーマ展示

本との出会いを生む取組として、テーマごとに蔵書の紹介をしている。

(1) 中央図書館

	テーマ
4月	交通安全
5月	(臨時休館)
6月	【食育】
7月	【環境】
8月	【平和】～生きている、生きていた～
9月	【世界自殺予防デー&自殺週間】空の本
10月	日野を知る「豊田周辺の自然とまちのようす」
11月	【子育て支援、児童虐待防止】「あなたひとりで考え込まないで」
12月	空を飛ぶ
1月	夜明け
2月	健康法
3月	【自殺対策】「心を守る」

(2) 高幡図書館

	テーマ
4月	小さな世界を覗く／実践女子大POP展示 (ヤングミニ展示)
5月	(臨時休館)
6月	【環境】大切に扱う。修理する。無駄なく使いきる。
7月	夏の本
8月	【平和】戦後の人々
9月	【認知症】認知症と生きる
10月	日野を知る「もっと知りたい動物園、水族館」
11月	税を知る
12月	映画化された作品
1月	ゆうゆうシニアクラブ
2月	こんな時こそじっくり噺を～落語、噺家の世界／まちゼミ展示
3月	[自殺対策]なやみがあったら、本に相談してみよう

(3) 日野図書館

	テーマ
4月	2019年外国文学
5月	(臨時休館)
6月	日記
7月	島

8月	【平和】 難民
9月	【認知症】 寄り添う
10月	日野を知る[日野駅]
11月	【環境】 環境関係図書近刊
12月	おおきいひとにおすすめの絵本
1月	今尾恵介ワールド
2月	手紙
3月	東日本大震災

(4) 多摩平図書館

	テーマ
4月	団地を楽しむ～暮らしの中の団地～
5月	(臨時休館)
6月	梅雨／実践女子大POP展示 (ヤングミニ展示)
7月	ふるさと
8月	【平和】 世界の紛争・内乱～そこに生きる人々～
9月	【世界自殺予防デー&自殺予防週間】 本といっしょ
10月	日野を知る[多摩平団地～団地のある風景～]
11月	【子育て支援・児童虐待防止】
12月	声を使わないコミュニケーション
1月	本をつくる／まちゼミ展示
2月	光／まちゼミ展示
3月	【環境】 きる世界のいま、未来を知る

(5) 平山図書館

	テーマ
4月	
5月	(臨時休館)
6月	感染対策／実践女子大POP展示 (ヤングミニ展示)
7月	暑い夏を涼しく過ごそう
8月	【平和】 考えよう！戦争と平和について
9月	日本の歴史と産業
10月	日野を知る[市民の著作を紹介する]
11月	【児童虐待防止】
12月	【環境】 環境問題を考える
1月	新年を迎えて
2月	【子育て支援】
3月	音楽を楽しむ

統計資料

(6) 百草図書館

	テーマ
4月	春爛漫～植物にまつわる本～
5月	(臨時休館)
6月	【子育て支援】子育て十人十色
7月	夏を彩る光
8月	【平和】物語で知る平和と戦争
9月	【認知症】
10月	日野を知る[百草周辺の農のある風景～]
11月	テーマは図書館
12月	憧れの家具
1月	【環境】ともに暮らす～
2月	ストレッチ・体操／まちゼミ展示
3月	【自殺対策】心に寄り添う本、あります

10 日野宿発見隊

活動内容	開催月日	会場	参加者数等
日野宿発見隊第96弾「八坂の祭り まちかど写真館inひの」	9月1日(火) ～30日(水)	八坂神社玉垣 ほか	74点
日野宿発見隊第95弾「日野駅開業 130年記念絵葉書」発行	10月10日(土)		※①300 セット
日野宿発見隊第97弾「日野駅開業 130年記念WEB講演会」講師：今尾恵介 氏	12月1日(火)	YouTube配信	
※②日野宿発見隊第94弾 祝・日野 駅開業130年 まち歩き会「線路沿い を歩く～微に入り細に入り～」	3月20日(土)	日野図書館発 立川駅解散	18
日野宿発見隊通信第18号発行	3月26日(金)	一小、東光寺 小、仲田小学区 内自治会配布	400部

※①11月6日(金)に300セット増刷

※②令和元年度に予定していた事業を新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期して
実施

統計資料

11 本を通じた交流の企画

(1) はじまりの読書会 2020

	開催日程	とりあげた本	会場	講師
第1回	10月19日(月)	『お伽草紙』 太宰治／著	高幡図書館 1階	青木 笙子氏
第2回	11月30日(月)	『人間失格』 太宰治／著		
第3回	12月21日(月)	『或る「小倉日記」伝』 松本清張／著		
第4回	1月18日(月)	『張込み』 松本清張／著		
第5回	2月22日(月)	『半生の記』 松本清張／著		

※参加者数：10人

12 その他

(1) リサイクル図書配布

配布先	施設数等	配布数(冊)
児童施設	8	437
小中学校	18	801
市他部署	5	349
その他	1	30
イベント	1回	2,761
個人	—	19,404
計		23,782

(2) 実習生(大学生以上)受入

期間	団体・学校名	学年等	目的	人数
8月14日(水)20日(木) 21日(金)	第四小学校	教諭	教員10年研修	2名

日野市立図書館の運営状況の評価実施要綱

平成21年3月31日

制定

(目的)

第1条 この要綱は、図書館法（昭和25年法律第118号）第7条の3に規定する、
図書館の運営の状況に関する評価等に関し、必要な事項を定めるものとする。

(点検及び評価の対象)

第2条 日野市立図書館（以下「図書館」という。）は、毎年1回、図書館の運営状況に
ついて評価を行う。

(評価の方法)

第3条 図書館は、図書館協議会の意見を聞きながら、評価を行うものとする。

(教育委員会への報告書の提出)

第4条 図書館は、評価に関する報告書を毎年度作成し、教育委員会に提出する。

(評価結果の公表)

第5条 図書館は、評価の結果を市民に公表する。

(評価結果の活用)

第6条 図書館は、評価の結果に基づき、その運営の改善に努めるものとする。

(庶務)

第7条 評価に関する庶務は、図書館庶務整理係において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、この要綱の施行に関し必要な事項は、図書館長
が別に定める。

付 則

この要綱は、平成21年4月1日から施行する。

図書館協議会委員名簿

《第29期図書館協議会委員》

委員長	田代 守		社会教育の関係者
副委員長	紺野 順子		学識経験者
委員	山口 洋		学識経験者
委員	栗沢稚富美		社会教育の関係者
委員	山口 早苗		学校教育の関係者
委員	秋野 宏之	令和3年3月31日まで	学校教育の関係者
委員	中村 宏	令和3年4月1日から	
委員	黒川 洋美	令和3年3月31日まで	家庭教育の向上に資する活動を行うもの
委員	元木 千恵	令和3年4月1日から	
委員	田中 正昭		公募による市民
委員	遠藤 寛靖		公募による市民

任期 自 令和 2年4月15日
 至 令和 4年4月14日

令和3年度
日野市立図書館の運営の
状況に関する評価書

(令和2年度事業)

くらしの中に図書館を

令和3年9月

日野市立図書館

〒191-0053 東京都日野市豊田 2-49-2

電話 042-586-0584